2012年3月期　上期決算説明会

丸一鋼管株式会社

社　長　　鈴　木　博　之

目　　次

Ⅰ．2012年3月期上期単体決算概要	･･･	P．　2
Ⅱ．2012年3月期上期連結決算概要	･･･	P．10
Ⅲ．2012年3月期業績予想	･･･	P．20
Ⅳ．第2次中期経営計画への取組	･･･	P．26
Ⅴ．丸一グループの特色	･･･	P．61

２０１１年１１月９日

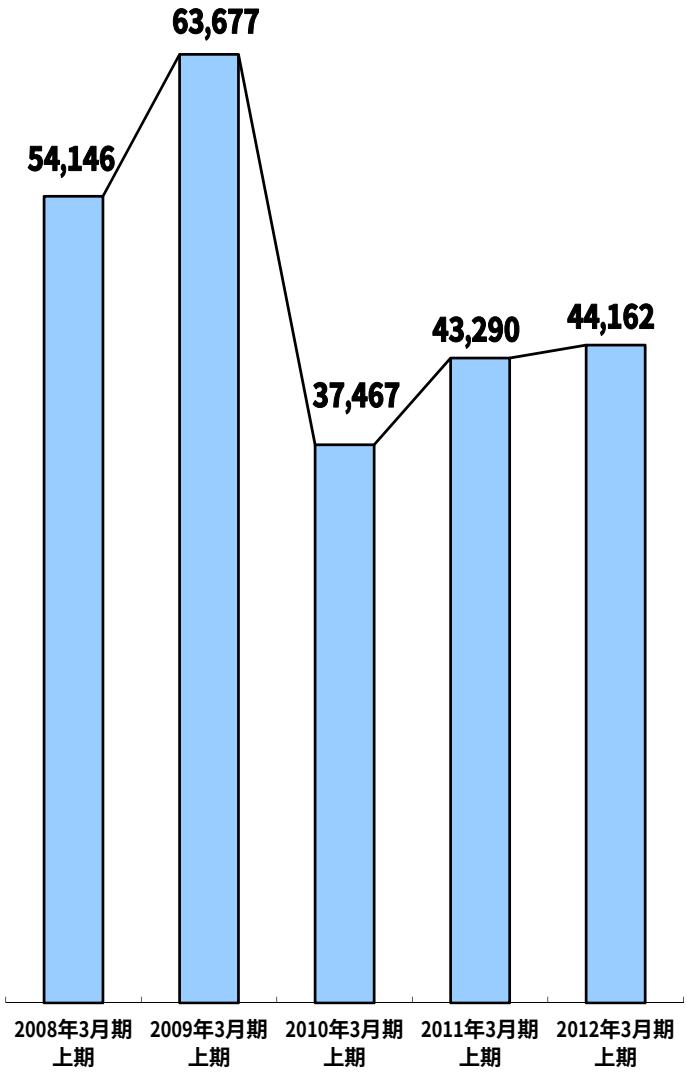
Ⅰ．2012年3月期上期
単体決算概要

単体経営成績

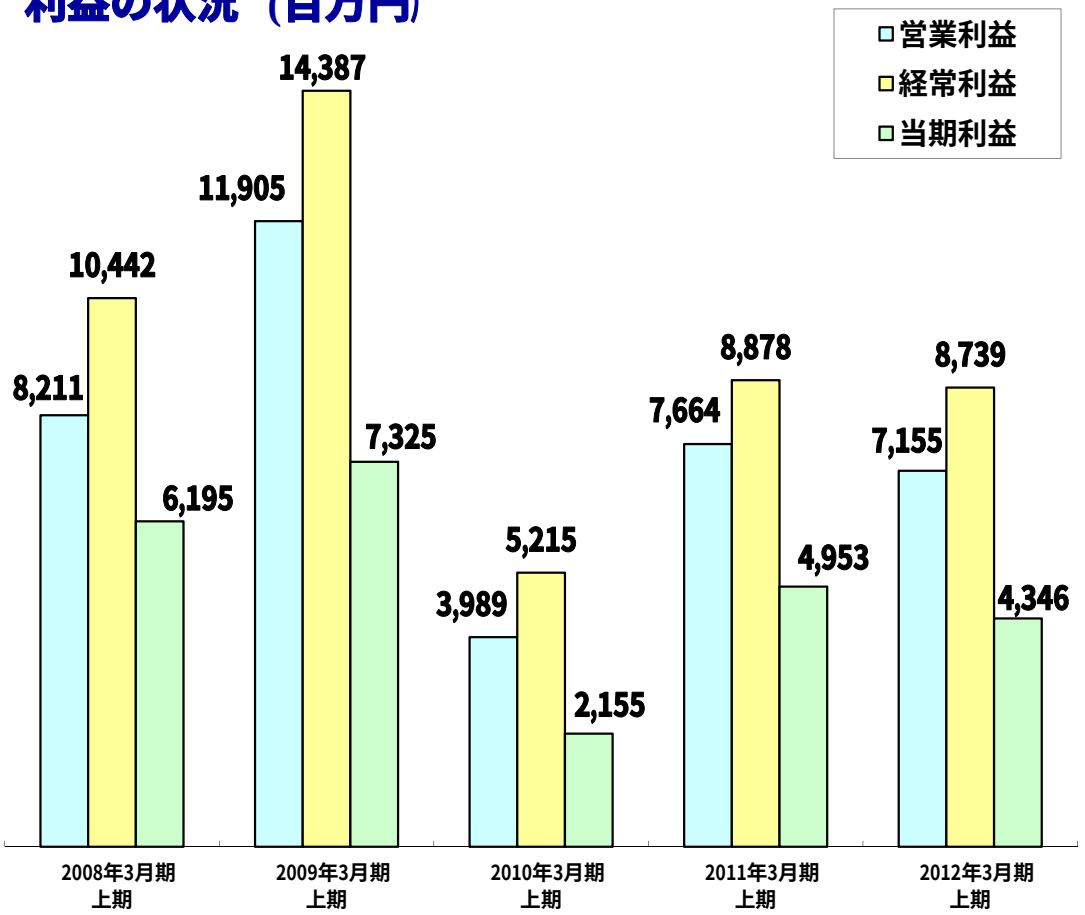
【単位：百万円】

	2011年3月期 上期実績	2012年3月期 上期実績	増減率	8月発表 予想	増減率
売　上　高	43,290	44,162	+2.0%	43,900	+0.6%
営 業 利 益	7,664	7,155	▲6.6%	6,900	+3.7%
経 常 利 益	8,878	8,739	▲1.6%	8,600	+1.6%
四半期純利益	4,953	4,346	▲12.3%	5,100	▲14.8%

売上の状況（百万円）



利益の状況（百万円）



単体経営成績　損益計算書

【単位：百万円】

	2008年3月期 上期	2009年3月期 上期	2010年3月期 上期	2011年3月期 上期	2012年3月期 上期
売上高	**54,146**	**63,677**	**37,467**	**43,290**	**44,162**
売上原価	42,898	48,545	30,913	32,948	34,088
売上総利益	**11,247**	**15,131**	**6,554**	**10,341**	**10,073**
販売費及び一般管理費	3,036	3,225	2,564	2,677	2,918
営業利益	**8,211**	**11,905**	**3,989**	**7,664**	**7,155**
営業外収益	2,439	2,811	1,511	1,512	1,888
営業外費用	208	329	285	298	304
経常利益	**10,442**	**14,387**	**5,215**	**8,878**	**8,739**
特別利益	0	-	158	96	63
特別損失	253	2,238	1,079	980	969
税金等調整前四半期純利益	**10,189**	**12,148**	**4,294**	**7,994**	**7,833**
法人税等	3,993	4,823	2,139	3,041	3,487
四半期純利益	**6,195**	**7,325**	**2,155**	**4,953**	**4,346**

単体　損益計算書　売上･利益の増減要因

【単位：億円】

	2011年3月期 上 期	2012年3月期 上 期	差　額
売　上　高	433	442	＋9
営　業　利　益	77	72	▲5
(受取配当金･債券利息等)	8	13	＋5
(丸一インベスト分配金)	3	2	▲1
(その他営業外収益)	4	4	▲0
(営業外費用)	▲3	▲3	▲0
経　常　利　益	89	87	▲1
(有価証券売却益)	1	1	▲0
(有価証券売却損)	▲7	0	＋7
(有価証券評価損)	▲2	▲9	▲7
(災害損失)	0	▲0	▲0
(その他特別損失)	▲0	▲0	＋0
税金等調整前四半期純利益	80	78	▲2
(法人税等)	▲30	▲35	▲5
四半期純利益	50	43	▲6

- 国内パイプ販売数量減少　▲4.8億円
- 国内パイプ販売単価上昇　＋10.2億円
- 帯鋼(外販)数量増加　＋10.6億円
- 帯鋼(外販)単価下落　▲0.3億円
- 輸出パイプ、その他　▲7.0億円

- 総販売数量増加　＋1.1億円
- 総販売単価上昇　＋2.1億円
- 売上原価単価上昇　▲6.3億円
- 販管費単価上昇　▲2.0億円

- 営業利益より　▲5.1億円
- 受取配当金･債券利息等増加　＋3.9億円
- その他営業外収益･営業外費用　▲0.2億円

- 経常利益より　▲1.4億円
- 投資有価証券売却損減少　＋7.2億円
- 投資有価証券評価損増加　▲7.1億円
- 災害損失　▲0.2億円
- その他特別利益･特別損失　▲0.1億円

- 税引前利益より　▲1.6億円
- 法人税等増加　▲4.5億円

上期単体損益計算書　8月開示（予想）との差額主要因

【単位：億円】

	2011.8.5 発　表	上　期 実　績	差　額
売　上　高	439	442	＋3
営　業　利　益	69	72	＋3
経　常　利　益	86	87	＋1
四半期純利益	51	43	▲8

- 国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売数量　＋5.3億円
- 国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売単価　▲3.2億円
- 帯鋼販売数量　＋1.6億円
- 帯鋼販売単価　▲0.2億円
- 輸出ﾊﾟｲﾌﾟ　▲0.3億円
- 特品事業部　▲1.0億円
- 関連帯鋼　▲1.6億円
- 機械その他　＋2.1億円

- 全体販売数量要因　＋1.2億円
- 全体販売単価要因　▲4.5億円
- 売上原価　＋5.6億円
- 販管費　＋0.4億円

- 営業利益より　＋2.6億円
- 受取配当金･有価証券利息等　▲0.8億円
- その他営業外収益　＋0.3億円
- 営業外費用　▲0.6億円

- 経常利益より　＋1.4億円
- 有価証券売却益　＋0.6億円
- 有価証券売却損　＋0.3億円
- 有価証券評価損　▲9.3億円
- その他　＋0.2億円
- 法人税等　▲0.7億円

単体　貸借対照表　前年対比

[単位：億円]

	2011/3月期 期末	2012/3月期 上期末	差額
流動資産	**710**	**719**	**＋8**
（現金及び預金）	257	272	＋15
（受取手形及び売掛金）	275	262	▲14
（棚卸資産）	120	130	＋11
（その他）	58	55	▲4
固定資産	**1,324**	**1,237**	**▲87**
（有形固定資産）	415	413	▲2
（無形固定資産）	7	6	▲1
（投資その他の資産）	902	818	▲84
資産合計	**2,035**	**1,956**	**▲79**
流動負債	**198**	**196**	**▲2**
支払手形及び・買掛金）	140	132	▲8
（未払法人税等）	26	36	＋11
（その他）	32	28	▲4
固定負債	**46**	**21**	**▲25**
負債合計	**244**	**217**	**▲26**
純資産	**1,791**	**1,738**	**▲53**
（資本金）	96	96	＋0.0
（資本剰余金）	146	146	＋0.0
（利益剰余金）	1,676	1,693	＋16
（自己株式）	▲174	▲197	▲24
（その他有価証券評価差額）	46	▲0	▲46
（新株予約権）	1	1	＋0
負債純資産合計	**2,035**	**1,956**	**▲79**

- 現金及び預金（自社株購入、債券償還・株式売却など） ＋14.7億円
- 売上債権（売掛金減少） ▲13.6億円
- 棚卸資産（原材料の数量増・単価上昇など） ＋10.8億円
- その他 ▲3.6億円

- 有形固定資産新規取得と建設仮勘定減少 ＋7.0億円
- 有形固定資産減価償却費 ▲9.0億円
- 無形固定資産（新コンピュータシステム償却） ▲1.0億円
- 国内・海外上場株式時価下落 ▲80.0億円
- 投資有価証券売却・償還 ▲12.0億円
- SUNSCO追加投資 ＋8.0億円
- 投資有価証券評価損 ▲9.0億円
- 繰延税金固定資産 ＋9.0億円

- 支手・買掛金等 ▲8.0億円
- その他（未払法人税増加が主因） ＋6.3億円

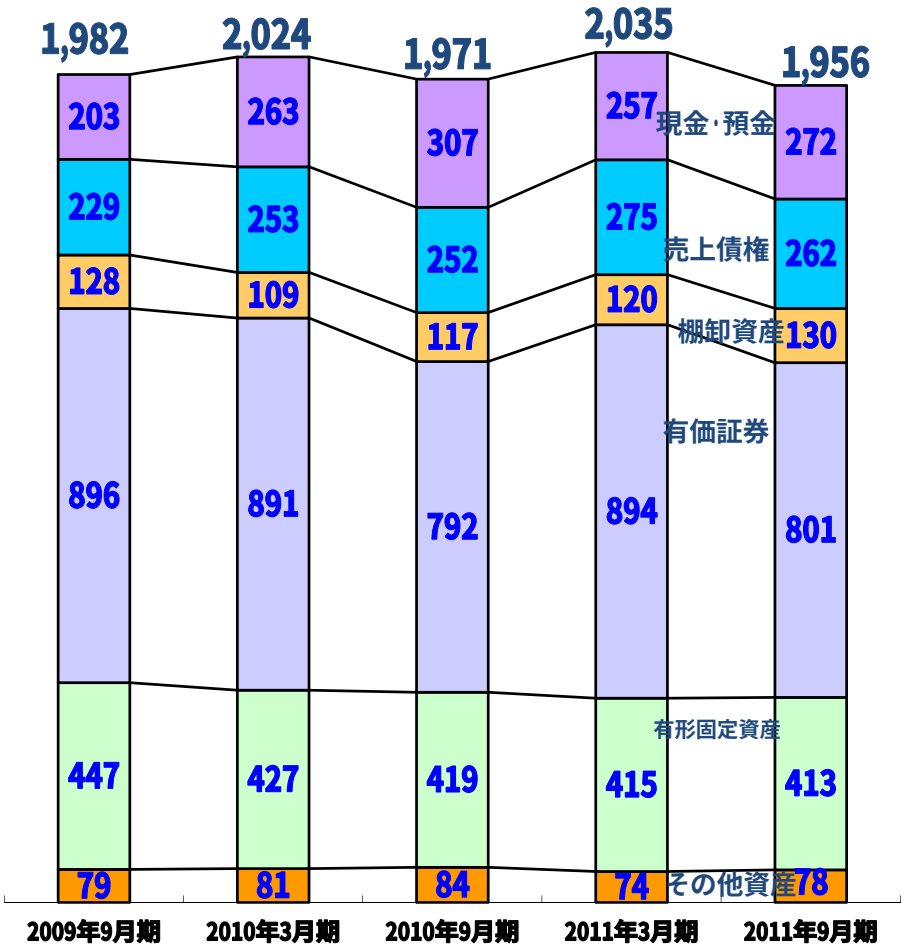
- 繰延税金固定負債 ▲24.7億円

- 利益剰余金 ＋16.2億円
  （当期純利益43億円、期末配当金▲27億円）
- 自己株式（120万株買付） ▲23.5億円
- 有価証券評価差額金 ▲45.7億円

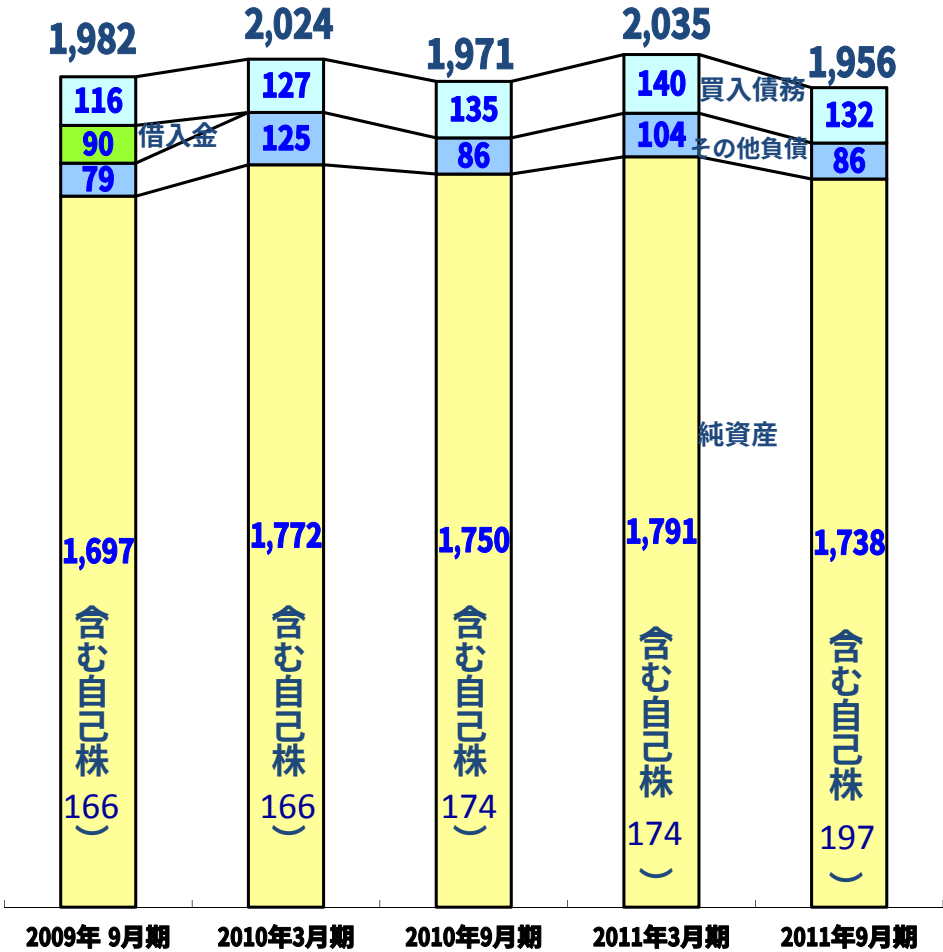
単体財務　貸借対照表の状況

【単位：億円】

資産



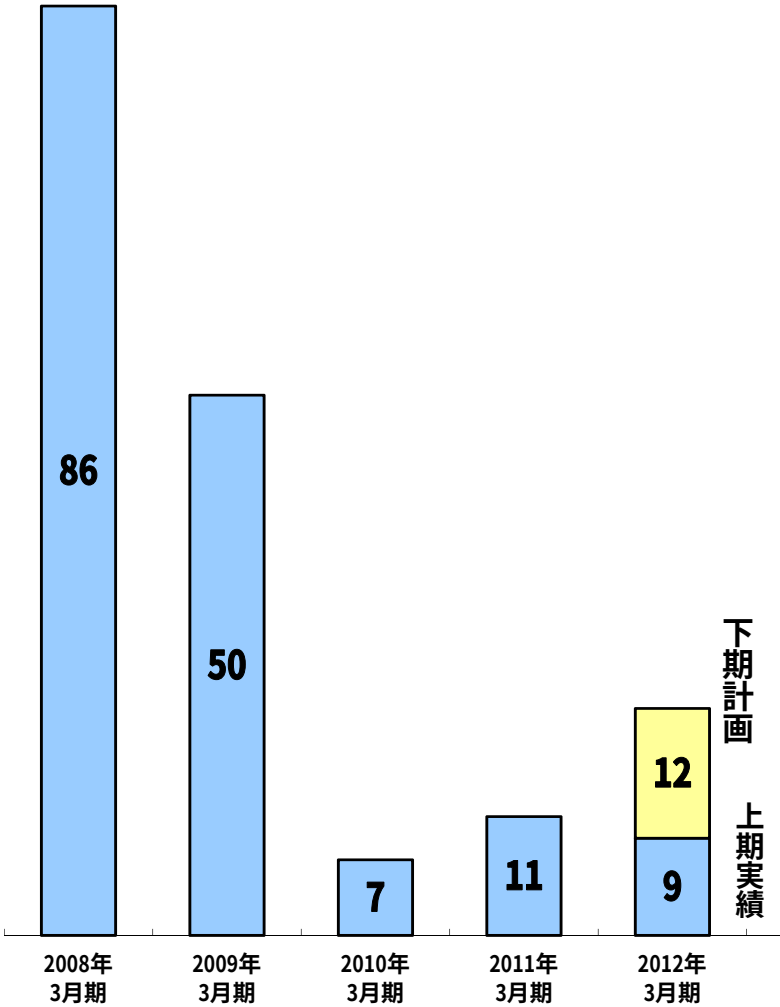
負債・資本



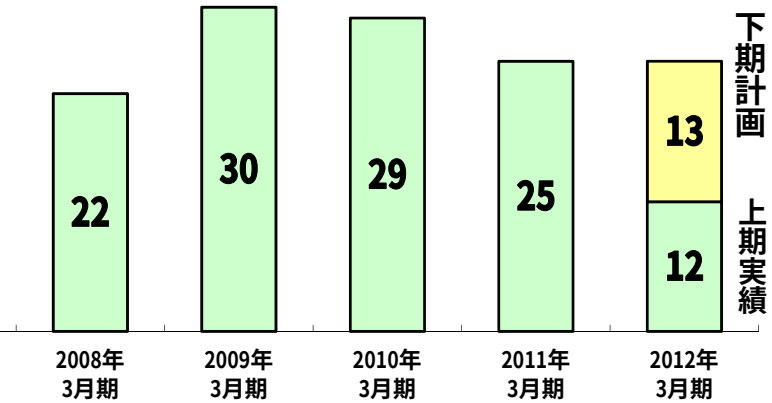
単体決算　設備投資額及び減価償却費

【単位：億円】

設備投資額



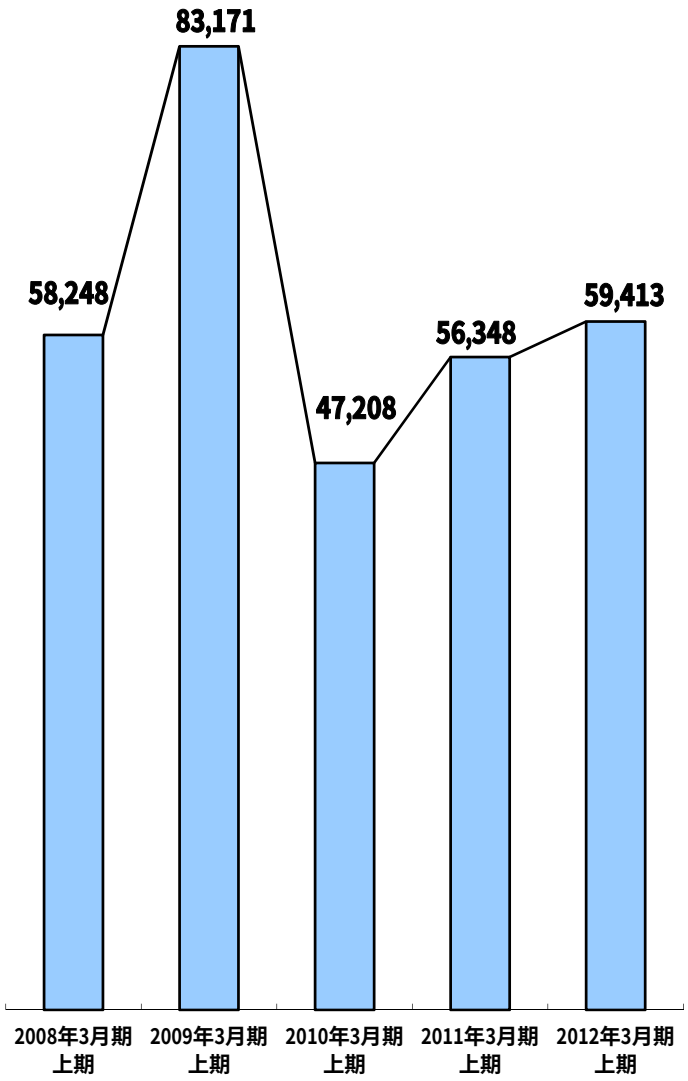
減価償却費



Ⅱ．２０１２年３月期上期
連結決算概要

連結経営成績

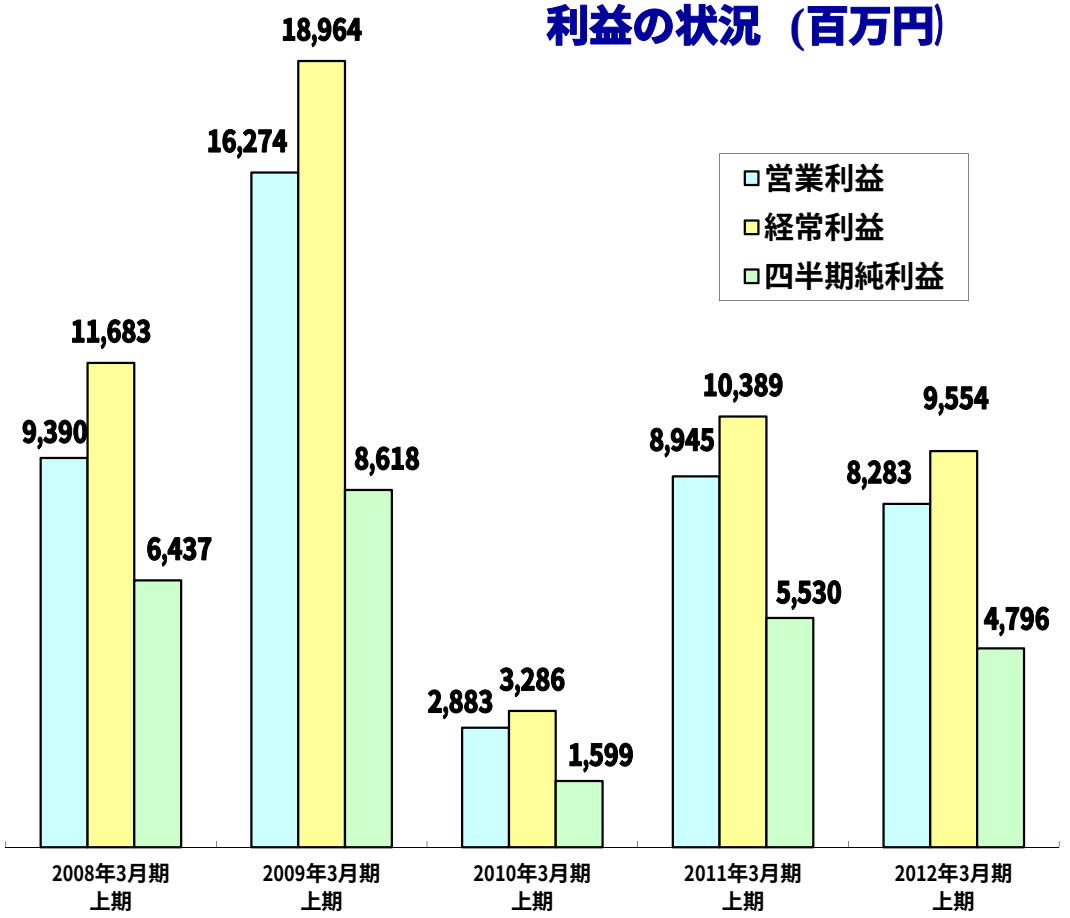
売上の状況（百万円）



【単位：百万円】

	2011年3月期 上期実績	2012年3月期 上期実績	増減率	8月発表 予想	増減率
売　上　高	56,348	59,413	+5.4%	58,800	+1.0%
営 業 利 益	8,945	8,283	▲7.4%	8,000	+3.5%
経 常 利 益	10,389	9,554	▲8.0%	9,500	+0.6%
四半期純利益	5,530	4,796	▲13.3%	5,700	▲15.9%

利益の状況（百万円）



連結経営成績　損益計算書

【単位：百万円】

	2008年3月期 上　期	2009年3月期 上　期	2010年3月期 上　期	2011年3月期 上　期	2012年3月期 上　期
売上高	**58,248**	**83,171**	**47,208**	**56,348**	**59,413**
売上原価	44,226	61,455	39,679	42,384	45,772
売上総利益	**14,021**	**21,716**	**7,529**	**13,963**	**13,640**
販売費及び一般管理費	4,630	5,441	4,646	5,017	5,357
営業利益	**9,390**	**16,274**	**2,883**	**8,945**	**8,283**
営業外収益	2,401	3,334	1,586	2,089	1,933
営業外費用	109	644	1,183	645	661
経常利益	**11,683**	**18,964**	**3,286**	**10,389**	**9,554**
特別利益	32	73	290	1,810	993
特別損失	262	2,252	279	983	1,007
税金等調整前四半期純利益	**11,453**	**16,784**	**3,297**	**11,216**	**9,541**
法人税等	4,610	6,361	1,789	4,695	4,390
少数株主利益	405	1,804	▲91	990	353
四半期純利益	**6,437**	**8,618**	**1,599**	**5,530**	**4,796**

連結　損益計算書　売上･利益の増減要因

【単位：億円】

	2011年3月期 上　期	2012年3月期 上　期	差　額
売　上　高	563	594	＋31
営　業　利　益	89	83	▲7
(受取配当金･債券利息等)	8	12	＋4
(匿名組合投資利益)	7	0	▲7
(持分法による投資利益)	▲1	2	＋3
(その他営業収入)	6	5	▲1
(支払利息)	▲1	▲1	＋0
(その他営業外費用)	▲4	▲6	▲1
経　常　利　益	104	96	▲8
(投資有価証券売却益)	1	1	▲0
(匿名組合清算益)	17	5	▲12
(関係会社株式売却益)	0	4	＋4
(その他特別利益)	0	0	＋0
(投資有価証券売却損)	▲7	0	＋7
(投資有価証券評価損)	▲2	▲9	▲7
(その他特別損失)	▲0	▲1	▲0
税金等調整前四半期純利益	112	95	▲17
(法人税等)	▲47	▲44	＋3
(少数株主利益)	▲10	▲4	＋6
四半期純利益	55	48	▲7

- 単体要因　＋8.7億円
- MACの売上増加　＋6.1億円
- MKK USA INC.の売上増加　＋10.7億円
- SUNSCOの売上増加　＋3.8億円
- その他国内子会社の売上増加
  （うち丸一鋼販＋35億円）　＋30.0億円
- 連結消去･組換仕訳増減　▲28.6億円

- 単体要因　▲5.1億円
- MAC利益増加　＋1.1億円
- MKK USA INC.利益増加　＋3.3億円
- SUNSCO利益減少　▲4.3億円
- その他国内子会社利益減少　▲1.9億円
- 連結消去･組換仕訳増減　＋0.2億円

- 営業利益より　▲6.6億円
- 匿名組合投資利益（四国丸一の出資利益）　▲7.0億円
- 持分法投資損利益　＋3.2億円
（セイケイ、ウィニング＋1.0億円、MMP･ISTW計＋0.0億円）
- その他　＋2.1億円

- 経常利益より　▲8.4億円
- 匿名組合清算利益（四国丸一の運用清算益）　▲12.3億円
- 関係会社株式売却益(SUNSCOの子会社株式売却）　＋4.5億円
- 投資有価証券売却損　＋6.9億円
- 投資有価証券評価損　▲7.1億円
- その他　▲0.4億円

上期連結損益計算書　8月開示（予想）との差額主要因

【単位：億円】

	2011.8.5 発　表	上期 実績	差　額
売　上　高	588	594	＋6
営業利益	80	83	＋3
経常利益	95	96	＋1
四半期純利益	57	48	▲9

- 丸一単体要因　＋2.6億円
- MKK USA INC.の売上増加　＋3.2億円
  （2級品売上、運送費等の決算調整）
- アルファメタルの売上増加　＋0.9億円
- 連結調整　▲0.6億円

- 丸一単体要因　＋2.6億円
- 海外子会社　▲0.3億円
- 連結調整　＋0.5億円

- 丸一単体要因　＋1.4億円
- 海外子会社　（うちSUNSCO▲1.9億円）　▲2.3億円
- 国内子会社　▲0.1億円
- 持分法適用関連会社　＋0.1億円
- 連結調整　＋1.4億円

- 丸一単体要因　▲7.5億円
- SUNSCOの繰延税金資産取崩　▲1.1億円
- その他海外子会社　▲0.4億円
- 持分法適用関連会社　＋0.1億円
- 連結調整　▲0.1億円

連結主要会社8月開示と上期実績との差額

8月発表データ

	売上高	営業利益	経常利益	最終利益
丸一鋼管	439	69	86	51
MAC	28	4	4	1
MKK USA	37	5	5	2
SUNSCO (含Hanoi)	71	0	▲0	2
アルファメタル	20	0	0	0
その他	▲7	6	4	5
のれん代		▲4	▲4	▲4
合計	588	80	95	57

上期実績

【単位：億円】

	売上高		営業利益		経常利益		最終利益	
丸一鋼管	442	3	72	3	87	1	43	▲ 8
MAC	28	0	4	▲ 0	4	0	1	0
MKK USA	40	3	5	▲ 0	5	▲ 0	2	▲ 0
SUNSCO (含Hanoi)	71	0	0	▲ 0	▲ 2	▲ 2	0	▲ 1
アルファメタル	21	1	0	0	0	0	0	0
その他	▲ 8	▲ 1	7	0	6	1	5	▲ 0
のれん代			▲ 4	0	▲ 4	0	▲ 4	0
合計	594	6	83	3	96	1	48	▲ 9

連結　貸借対照表　前期末対比

【単位：億円】

	2011/3月期 期末	2012/3月期 上期末	差額
流動資産	**1,235**	**1,256**	**+21**
（現金及び預金）	543	548	+5
（受取手形及び売掛金）	296	287	▲9
（棚卸資産）	212	234	+22
（その他）	184	188	+4
固定資産	**1,351**	**1,251**	**▲100**
（有形固定資産）	649	646	▲3
（無形固定資産）	39	37	▲2
（投資その他の資産）	662	567	▲95
資産合計	**2,586**	**2,507**	**▲78**
流動負債	**289**	**288**	**▲1**
（支払手形及び買掛金）	142	148	+6
（短期借入金）	56	57	+1
（未払法人税等）	39	39	+0
（その他）	53	45	▲8
固定負債	**111**	**85**	**▲26**
負債合計	**401**	**373**	**▲28**
純資産	**2,185**	**2,134**	**▲51**
（資本金）	96	96	+0
（資本剰余金）	158	158	+0
（利益剰余金）	2,023	2,044	+21
（自己株式）	▲174	▲197	▲24
（その他有価証券評価差額）	65	21	▲45
（為替調整勘定）	▲65	▲67	▲2
（新株予約権）	1	1	0
（少数株主持分）	81	80	▲2
負債純資産合計	**2,586**	**2,507**	**▲78**

- 現金及び預金
  （丸一＋15億円、子会社▲9億円、連結調整▲1億円） ＋5.2億円
- 受取手形及び売掛金
  （丸一▲14億円、子会社▲2億円、連結調製＋7億円） ▲9.4億円
- 棚卸資産（原材料の数量増・単価上昇など） ＋21.6億円
- その他（新規NCD預入など） ＋3.7億円

- 有形固定資産
  （丸一▲2億円、MKK USA INC.＋5億円、SUNSCO・同Hanoi計▲5億円、アルファメタル＋1億円、その他子会社▲2億円） ▲2.9億円
- 無形固定資産（丸一▲1億円、子会社▲1億円） ▲1.6億円
- 投資他（丸一▲84億円、子会社▲3億円、連結調整▲8億円） ▲94.9億円

- 支払手形及び買掛金
  （丸一▲8億円、子会社＋3億円、連結調整＋11億円） ＋6.1億円
- 短期借入金（MKK USA INC.＋2億円、SUNSCO▲2億円） ＋0.5億円
- その他（丸一▲2億円、子会社▲5億円、連結調整▲1億円） ▲7.9億円

- 繰延税金固定負債 ▲26.2億円
  （丸一▲25億円、有価証券評価差額金がマイナスに転じたため）

- 利益剰余金
  （丸一＋16億円、子会社計＋10億円、連結調整▲5億円） ＋20.7億円
- 自己株式（120万株自社株取得） ▲23.5億円
- その他有価証券評価差額金
  （丸一▲46億円、連結調整＋1億円） ▲44.6億円
- 為替換算調整勘定
  （2010年末対比0.76円/US$円高のためなど） ▲1.8億円
- 少数株主持分 ▲1.7億円

連結経営成績　セグメント別

売上高

【単位：百万円】

	2012年3月　上期	比率
日　　本	45,599	76.7%
北　　米	6,804	11.5%
ア　ジ　ア	7,071	11.9%
消去・全社	▲62	▲0.1%
合　　計	59,413	100.0%

営業利益

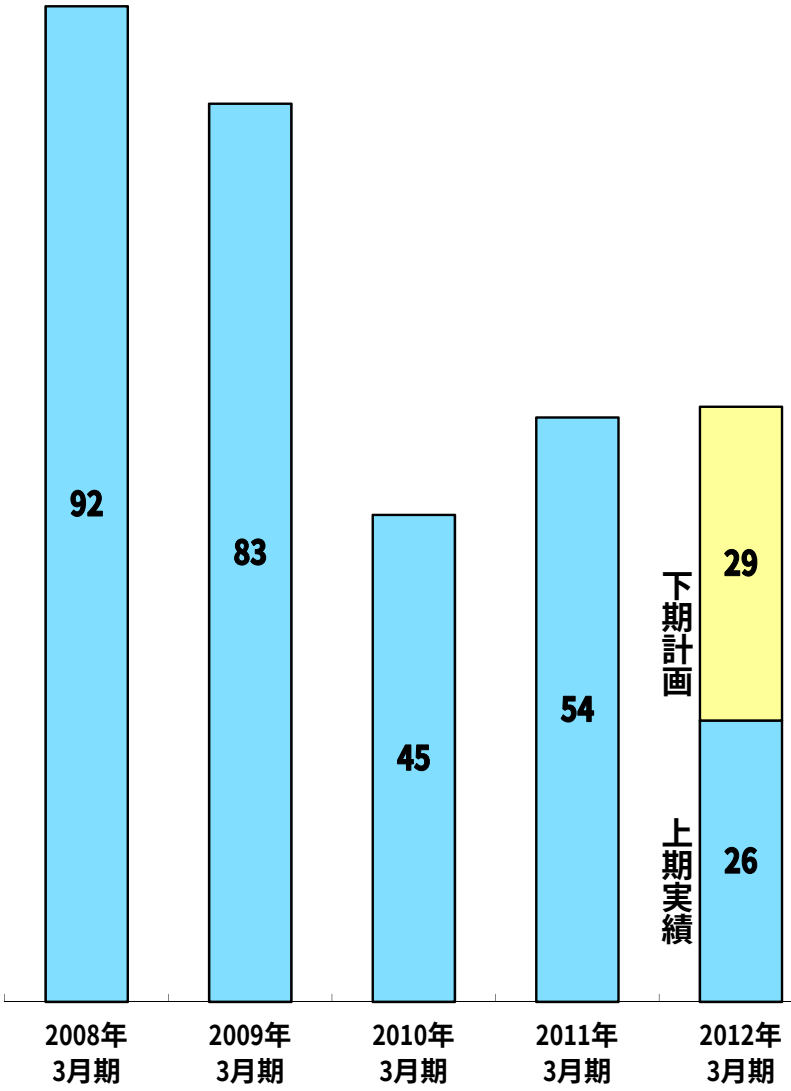
【単位：百万円】

	2012年3月　上期	比率
日　　本	7,837	94.6%
北　　米	809	9.8%
ア　ジ　ア	▲361	▲4.4%
消去・全社	▲2	▲0.0%
合　　計	8,283	100.0%

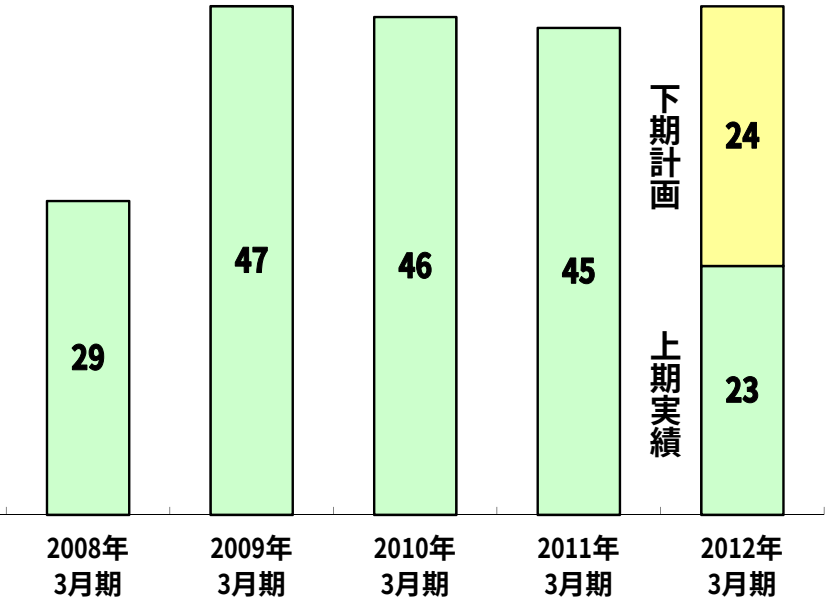
連結決算　設備投資額及び減価償却費

【単位：億円】

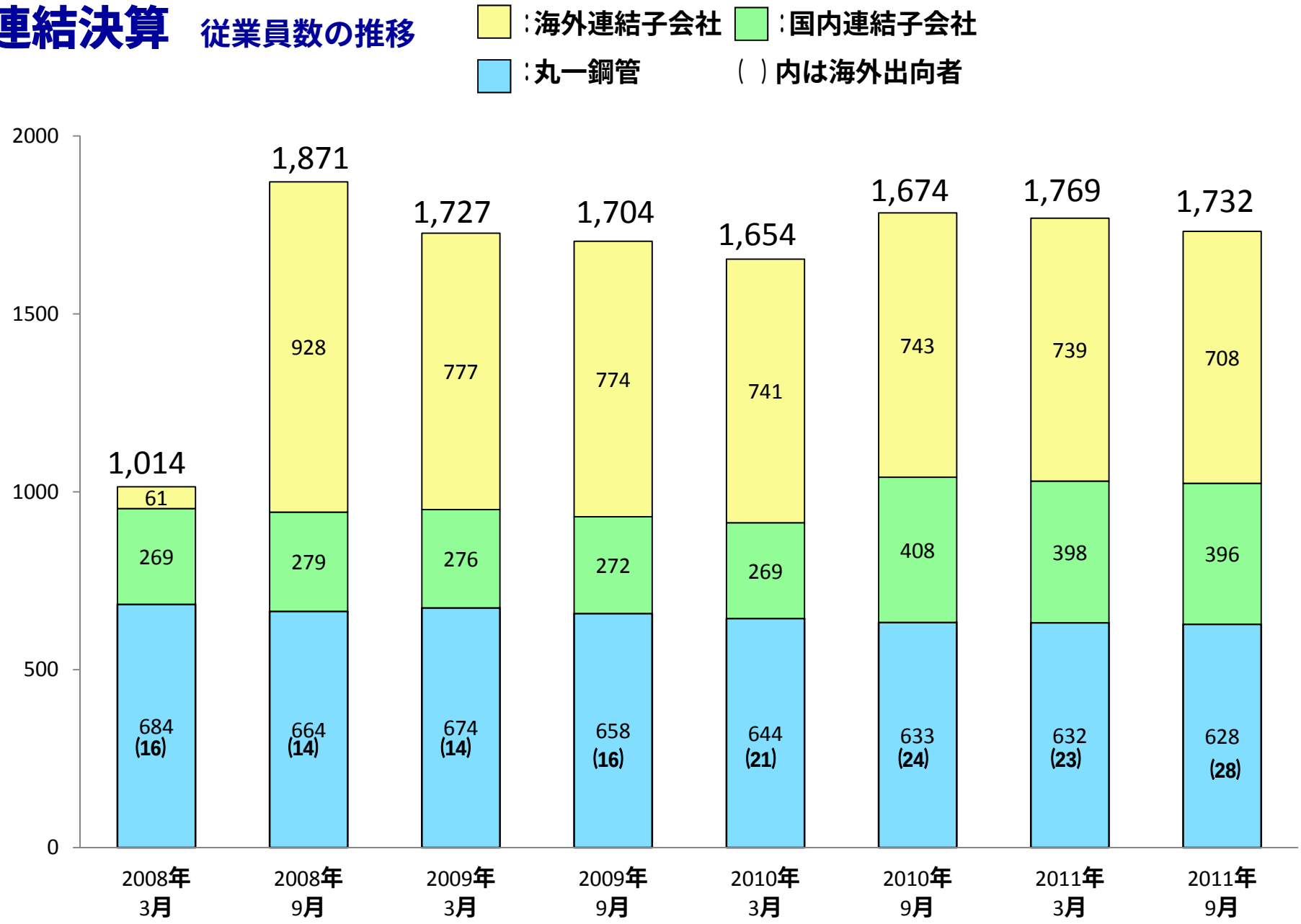
設備投資額



減価償却費



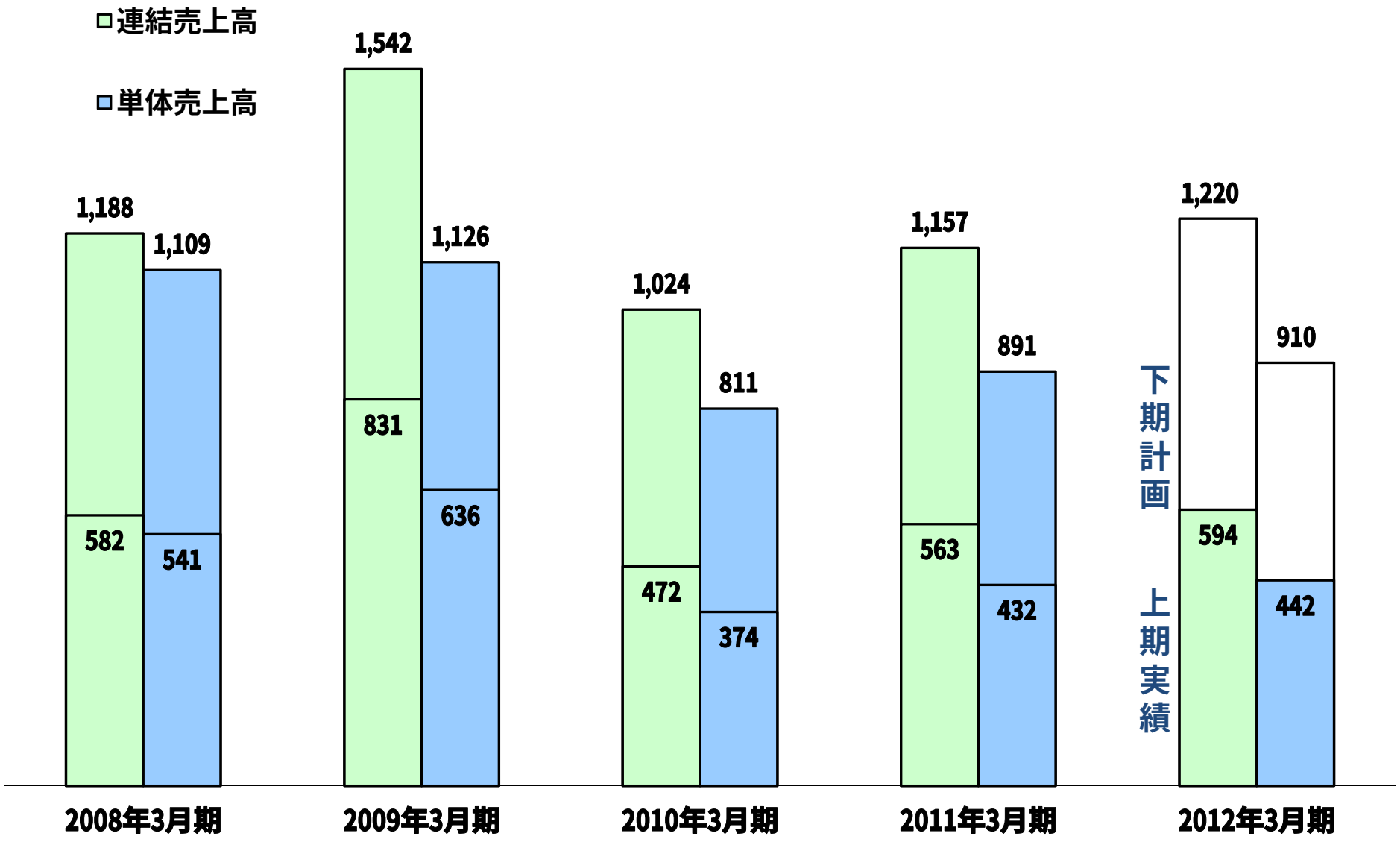
連結決算　従業員数の推移



Ⅲ. ２０１１年3月期
業績予想

連結及び単体売上高予想

【単位：億円】



連結及び単体利益予想

【単位：百万円】

連結決算予想

	2012年3月期				2011年3月期 実績	通期予想対前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	59,413	62,587	122,000		115,758	5.4%
営業利益	8,283	7,217	15,500	12.7%	16,505	▲6.1%
経常利益	9,554	7,846	17,400	14.3%	18,625	▲6.6%
当期純利益	4,796	4,404	9,200	7.5%	10,211	▲9.9%

単体決算予想

	2012年3月期				2011年3月期 実績	通期予想対前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	44,162	46,838	91,000		89,134	2.1%
営業利益	7,155	6,845	14,000	15.4%	14,876	▲5.9%
経常利益	8,739	7,461	16,200	17.8%	16,726	▲3.1%
当期純利益	4,346	4,454	8,800	9.7%	9,062	▲2.9%

連結主要会社通期損益予想及び8月開示との差額

8月発表データ

	売上高	営業利益	経常利益	最終利益
丸一鋼管	937	146	169	101
MAC	53	4	5	2
MKK USA	68	4	5	2
SUNSCO (含Hanoi)	159	3	1	▲0
アルファメタル	44	1	1	0
その他	▲10	14	15	12
のれん代		▲8	▲8	▲8
合計	1,250	164	187	109

見通し通期予想

【単位：億円】

	売上高		営業利益		経常利益		最終利益	
丸一鋼管	910	▲ 27	140	▲ 6	162	▲ 7	88	▲ 13
MAC	52	▲ 1	4	▲ 0	5	▲ 0	2	▲ 0
MKK USA	68	0	3	▲ 1	4	▲ 1	1	▲ 1
SUNSCO (含Hanoi)	152	▲ 7	0	▲ 3	▲ 5	▲ 6	▲ 4	▲ 4
アルファメタル	48	5	1	▲ 0	1	0	0	0
その他	▲ 11	▲ 1	14	1	16	1	13	1
のれん代			▲ 8	0	▲ 8	0	▲ 8	0
合計	1,220	▲ 30	155	▲ 9	174	▲ 13	92	▲ 17

通期連結損益予想　8月開示との差額主要因

［単位：億円］

	2011.8.5 発　表	今　回 見直し	差　額
売　上　高	1,250	1,220	▲30
営 業 利 益	164	155	▲9
経 常 利 益	187	174	▲13
当 期 純 利 益	109	92	▲17

- 丸一単体要因　▲27.0億円
- アルファメタルの増加　＋4.8億円
- MACの減少　▲1.2億円
- SUNSCO(Hanoiを含む)の減少　▲6.5億円
- その他子会社及び連結調整　▲0.2億円

- 丸一単体要因　▲6.0億円
- MACの減少　▲ 0.1億円
- MKK　USA　INC. の減少　▲1.1億円
- SUNSCO(Hanoiを含む)の減少　▲2.5億円
- 国内子会社　＋0.1億円
- 連結調整　＋0.6億円

- 丸一単体要因　▲7.0億円
- SUNSCO(Hanoiを含む)の減少　▲5.9億円
- その他の海外子会社　▲1.3億円
- 国内子会社　＋0.1億円
- 連結調整　＋1.1億円

- 丸一単体要因　▲13.0億円
- SUNSCO(Hanoiを含む)の減少　▲4.1億円
- その他海外子会社　▲0.5億円
- 国内子会社　＋0.2億円
- 連結調整　＋0.4億円

通期単体損益予想　8月開示との差額主要因

[単位：億円]

	2011.8.5 発　表	今　回 見直し	差　額
売　上　高	937	910	▲27
営 業 利 益	146	140	▲6
経 常 利 益	169	162	▲7
当期純利益	101	88	▲13

- 国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売数量予想対比　＋12.5億円
- 国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売単価見込対比　▲25.4億円
- 帯鋼販売数量予想対比　▲4.4億円
- 帯鋼販売単価予想対比　▲2.4億円
- 輸出ﾊﾟｲﾌﾟ予想対比　▲2.7億円
- 特品事業部見込対比　▲0.5億円
- 関連帯鋼見込対比　▲3.5億円
- 機械その他見込対比　▲0.6億円

- 全体販売数量要因　＋0.5億円
- 全体販売単価要因　▲30.1億円
- 売上原価見込対比　＋23.7億円

- 営業利益より　▲6.0億円
- 受取配当金･有価証券利息等　▲0.7億円
- その他営業外収益　＋0.3億円
- 営業外費用　▲0.6億円

- 経常利益より　▲7.0億円
- 有価証券売却益　＋0.6億円
- 有価証券売却損　＋0.3億円
- 有価証券評価損　▲9.3億円
- その他　＋0.2億円
- 法人税等　＋2.2億円

Ⅳ. 第2次中期経営計画の進捗状況

【第２次中期経営計画の業績目標】

	２０１０／３ 実績	２０１１／３ 実績	２０１２／３ 予想	２０１２／３ 目標
売上高	1,024	1,157	1,220	1,600
営業利益	106	165	155	220
経常利益	121	186	174	260
純利益	73	102	92	150
１株あたり純利益　ＥＰＳ	84.49円	117.84円	107.83円	170.00円
株主資本利益率　ＲＯＥ	3.9%	5.0%	4.3%	8.0%

【第2次中期経営計画の主要施策 ①】

1) 国内事業の更なる効率化推進

①国内工場の効率化

②セイケイ・東洋特殊鋼業等との協働

③販売拠点の強化

2) 海外事業の充実と拡大

①ﾍﾞﾄﾅﾑ/SUNSCOの経営安定と成長戦略 ⇒ 16ｲﾝﾁﾐﾙの新設、ﾊﾉｲ進出

②中国/MMPの経営安定と成長戦略

③北米戦略の展開 ⇒ Leavitt、ﾏﾙｲﾁ・ｱﾒﾘｶﾝ・ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ(MAC)の拡充発展

④原材料安定調達のための投資

⑤海外現地法人の管理強化と内部統制体制の確立

3) 新規事業分野への積極的展開

①国内での新アイテムへの進出検討 ⇒ 新商品分野への進出や提携の検討

②海外での新市場・地域への進出検討 ⇒ アジア・北米での新規事業の検討

4) IT化による経営効率の向上と人材育成の強化

①IT化による経営効率化

②次代を担う人材、海外人材の育成 ⇒ 海外で活躍できる人材の育成

【第2次中期経営計画の主要施策　②】

5) 環境への積極的対応

①省エネ、CO2削減への全社を挙げた対応

6) 資本の効率化の推進

①株主重視の資本政策の展開　　⇒ 高い株主還元率の維持

(自己株の市場買付の継続、配当政策の維持)

②保有金融資産の見直し

7) 社会と共生するｺﾞｰｲﾝｸﾞｺﾝｻｰﾝ(永続企業)として

①ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ、ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ、CSRの取組強化

②内部統制システムの有効運用

③透明度の高い経営の実現

8)災害に強い企業グループの構築

①国内事業所毎の防災体制の強化

②国内事業所間の供給補完体制の強化

③海外事業所からの供給補完体制の構築

【第2次中期経営計画の取り組み実績と今後の計画】

1) 国内事業の更なる効率化推進

① 国内工場の効率化

- 2009年6月　四国工場　5インチミルを角パイプ･丸パイプ兼用造管ラインへ改造 (119百万円)
- 2009年12月　東京第二工場　11号機溶接機をインバーター溶接機に更新 (98百万円)
- 2011年4月　東京第二工場　第3製管工場　機械構造用鋼管設備増設 (865百万円)
- 2011年8月　橘工場　2号機溶接機をインバーター溶接機に更新 (34百万円)
- 2011年12月　堺特品工場　第2工場完成予定 (約640百万円)
- 2012年8月　岩手県北上南部工業団地に加工工場を新設予定 (約700百万円)



東京第二工場　第3製管工場



堺特品工場　第2工場建設現場

②セイケイ・東洋特殊鋼業等との協働

【セイケイとの協働】

・2007年11月より資本参加
（株主構成： 三井物産 51% 、JFEスチール 27% 、丸一鋼管 22%）

・東西2工場体制

佐野製造所（栃木県）
堺製造所（当社堺工場敷地内）

・原材料主仕入先 JFEスチール：熱間厚板鋼板

・販売面での協働強化



堺製造所



佐野製造所

（参考）超高層ビル(30階建)や大規模工場の柱材として使用されています



マルイチコラム
（400mm角）

セイケイプレスコラム
（700mm角）



製品使用例

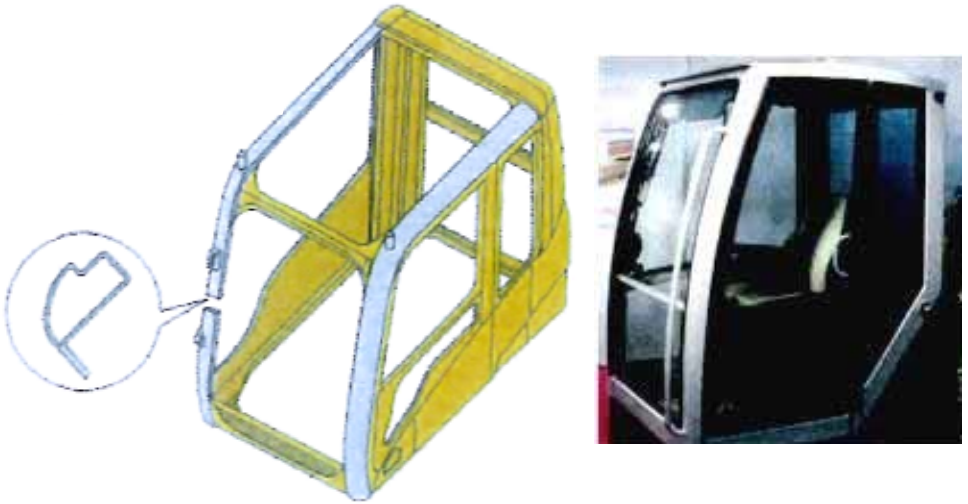
【東洋特殊鋼業との協働（営業・経営支援に注力）】

・2006年7月より業務・資本提携を実施　（出資比率　33.4%）
・今期は原子力関係の需要が見込まれる。

・冷間ロール成型加工による特殊角鋼管と異型管の専業メーカー
・原子力用容器や建設機械用途に高いシェア



製品断面



製品使用例（建機のキャブ）

【アルファメタルの連結子会社化】



九州の自動車部品製作会社
増資8千万・2億円と2回実施

設　　立　：2002年9月1日
所 在 地　：福岡県宮若市稲光850番地
事業内容　：自動車部品・太陽光発電架台等製作・販売
資 本 金　：3億円
従 業 員　：141名
敷地面積　：32,788.13m²
建物面積　：7,590m²



株主の状況

(単位:株)

	2009年 増資前	2010年 3月増資	2010年 3月末	2010年 6月増資	2011年 3月末
丸一鋼管	80	80	80	80	80
九州丸一鋼管	0	1,170	1,245	5,245	5,530
メタルワン	40	40	390	390	390
個人	280	710	285	285	0
合計	400	2,000	2,000	6,000	6,000
資本金	2,000万円	1億円	1億円	3億円	3億円

【業績の推移】

(百万円)

	売上高	経常利益
2008年3月	5,054	49
2009年3月	4,421	▲153
2010年3月	4,149	▲3
2011年3月	4,569	76
2012年3月 (見込)	4,848	115

④販売拠点の強化

【丸一鋼販　北関東営業所　開設】

【概要】

名　　称：丸一鋼販株式会社　北関東営業所

所 在 地：群馬県邑楽郡邑楽町

開　　設：2010年7月

用地面積：13,424㎡

倉庫面積：4,125㎡

投 資 額 ：総額約8億円　（丸一鋼販自己資金　）

【現在の関東地区の丸一鋼販営業所】

東京営業所　　千葉県市川市塩浜

横浜営業所　　神奈川県厚木市



北関東営業所



【丸一鋼販　南港パイプセンター　開設】

【概要】

名　　称：丸一鋼販株式会社　南港パイプセンター

所 在 地：大阪市住之江区（南港）

開　　設：2010年11月

用地面積：8,660㎡

倉庫面積：5,130㎡（旧施設より2,300㎡増加）

投 資 額：総額約15.5億円　（丸一鋼販自己資金）



南港パイプセンター



大阪府地図

【岩手県北上南部工業団地に加工工場を新設】

【概要】

所 在 地 ：岩手県北上市相去町　北上南部工業団地

開　　設 ：2012年8月予定

用地面積 ：10,763㎡

工場面積 ：約5,000㎡

投 資 額 ：総額約7億円

・自動車部品用の鋼管及び建築用鋼管の在庫、切断加工、配送する東北の拠点とする。



2) 海外事業の充実と拡大

①ベトナムSUNSCO社（ホーチミン）の経営安定と成長戦略

【業績の推移】

（単位：百万ＵＳ＄）

	売上高	営業利益	当期税前利益
2006年12月	57	▲ 4	▲ 7
2007年12月	126	3	1
2008年12月	165	▲ 25	▲ 30
2009年12月	117	1	0
2010年12月	158	4	0
2011年12月　見込	191	2	1
1 ～ 6月　実績	86	1	3
7～12月　見込	105	1	▲ 2

【株式の資本金及び持株状況の推移】

	日本側				台湾側	資本金	備考
		丸一鋼管	豊田通商	JFEスチール		（単位：百万US$）	
2006年8月	9.0%	0.0%	9.0%	-	91.0%	41.9	
2006年11月	45.4%	35.3%	10.1%	-	54.6%	74.4	資本参加
2007年6月	50.0%	40.9%	9.1%	-	50.0%	82.2	増資　日本:台湾、各５０%へ
2008年3月	56.1%	47.0%	9.1%	-	43.9%	82.2	台湾株主より持分譲受け
2008年8月	59.3%	50.2%	9.1%	-	40.7%	82.2	台湾株主より株式譲受け
2009年3月	76.6%	66.9%	9.7%	-	23.3%	100.0	増資引受
2009年6月	82.0%	72.3%	9.7%	-	18.0%	130.0	増資引受
2010年2月	82.0%	64.3%	9.7%	8.0%	18.0%	130.0	ＪＦＥスチール←丸一鋼管
2011年4月	87.0%	69.3%	9.7%	8.0%	13.0%	130.0	台湾株主より株式譲受け

2010年2月　材料安定供給先のＪＦＥスチールが株主（8%）

【SUNSCO社 設備概要】

総敷地面積：294,420㎡

・酸洗ライン＆酸回収設備		・鋼管メッキライン	
・冷間圧延設備		・ステンレス研磨機	4台
・連続溶融亜鉛メッキライン		・スリッター	3台
・カラー鋼板ライン		・棒鋼圧延ライン	
・16インチ大径造管機	1台	・レベラーシャー	3台
・造管機	7台	・ギロチンシャー	3台
・ステンレス造管機	11台	・小型冷間圧延機	2台



【16インチ造管設備　2010年5月稼働】

製造可能サイズ：　最大外径　406.4mm
投資金額　　：　36百万ドル
資金調達　　：　借入金 ＵＳ２１百万ドル、増資他 ＵＳ１５百万ドル
月産能力　　：　10,000トン
・ラインパイプのAPI認証を本年９月１９日取得



１６インチミル　サイジング部



１６インチミル出側

【SUNSCO社の設備拡充計画】

- **設備内容**　：第2連続溶融亜鉛メッキライン（第2CGL　）
  板巾　MAX4’　板厚　0．3～3．2mm、能力　約2万トン／月
  ：第2カラー鋼板ライン（第2CCL）
  板巾　MAX4’　板厚　0．2～1．2mm、能力　約8千トン／月
- **総工費**　：US90百万ドル
- **資金調達**　：借入金 US80百万ドル、自己資金 US10百万ドル
- **完成時期**　：2013年4月（予定）



第2CGL　第2CCL　建設予定地



第2CGL　第2CCL
工場建設地鎮祭

【SUNSCO社　第2CGL、第2CCL 完成予想図】



【SUNSCO(HANOI)社　工場稼働】

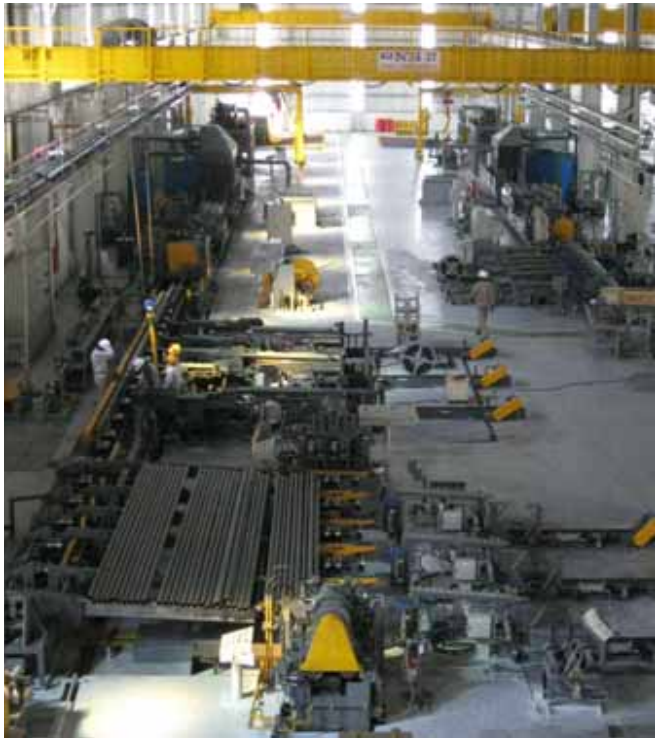
・SUNSCO社100%子会社 資本金8百万ドル
・2010年9月から稼働

【SUNSCOハノイ社概要】

名　　称	：	SUN STEEL (HANOI) COMPANY LIMITED
所 在 地	：	ベトナム ビンフック省
事業内容	：	自動車、二輪車向け鋼管の製造・販売
設　　立	：	2008年11月
敷地面積	：	18,786㎡
建物面積	：	6,600㎡
設備概要	：	造管機2台（2及び3インチ）、スリッター1台、寸法切1台
従業員	：	29人
月産能力	：	3,000トン



ハノイ工場建屋



工場内の様子

②中国　丸一金属制品（佛山）有限公司（MMP社）の経営安定と成長戦略

・2009年4月よりMMP社を持分法適用会社化

【MMP社概要】

名　　称　：　丸一金属制品（佛山）有限公司
所 在 地　：　中華人民共和国広東省佛山市禅城区
事業内容　：　二輪車・四輪車向け鋼管、家具向け鋼管の製造・販売
設　　立　：　2005年
従業員数　：　157名



【株主の状況】

	2007年4月増資後	
	資本金(単位：百万US$)	出資比率
日本側	9.0	50%
内　丸一鋼管	6.3	35%
台湾側	9.0	50%
合計	18.0	100%

【MMP天津社　工場稼働】

・MMP社100%子会社
・2011年3月稼働
・天津、長春における日系・台湾系進出企業向けに出荷

【MMP天津社の概要】

名　　称：　丸一金属制品(天津)有限公司
所 在 地：　中華人民共和国天津市天津経済技術開発区
設　　立：　2009年11 月
事業内容：　二輪車・四輪車向け鋼管の製造・販売
従業員数：　15名
設備概要：　造管機1 台、切断機2 台ほか
※第 2 期工事で造管機1 台、スリッター1 台、切断機6 台追加予定



工場外観

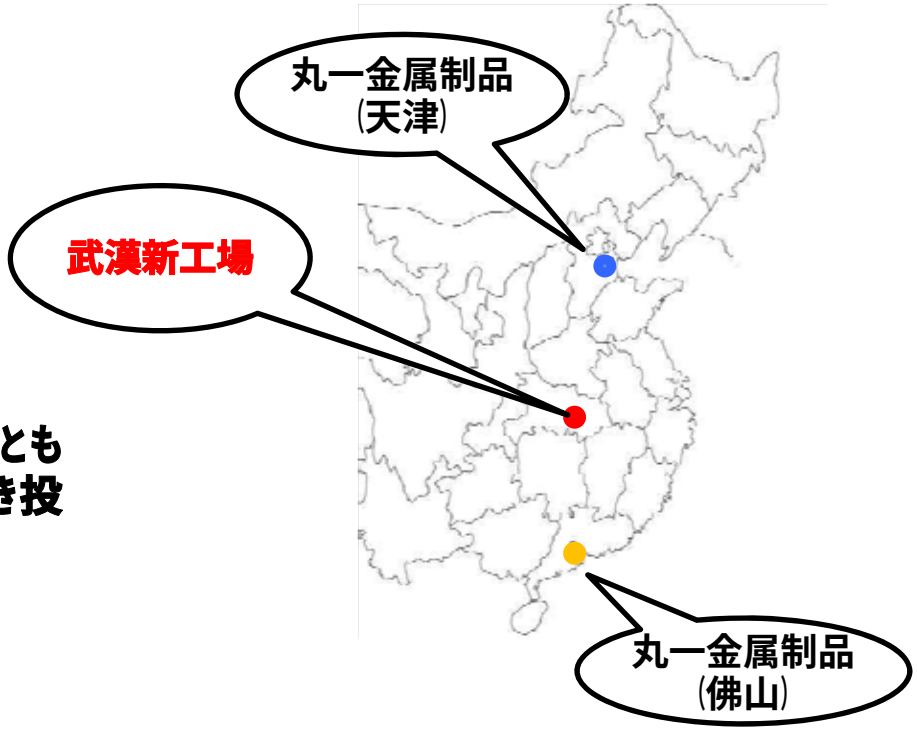


工場内の様子

【MMP社　武漢新工場建設】

【武漢新工場の概要】

所　在　地　：中華人民共和国湖北省武漢市華頂机電工業団地
敷地面積　　：約5,500㎡
工場完成　　：平成23年末予定
設備概要　　：切断機4台、面取機1台
投資金額　　：27,000,000RMB (約330百万円)



【今後の見通し】

今後の成長に合わせて切断能力を増強するとともに、加工分野における需要に合わせて引き続き投資を検討してまいります。

【ISTW社の概要】

名　　称　：P.T.INDONESIA STEEL TUBE WORKS
主な事業内容　：二輪車・四輪車用構造用溶接鋼管、家具用鋼管の製造・販売
設　　立　：1972年
所在地　：Jl.Rawa Sumur I/NO.1 Kawasan Industri Pulogadung ,Jakarta-13940 Indonesia
従 業 員 数　：378名



セマラン工場



ジャカルタ工場

【株主の状況】

	持株数	所有割合
日本側	3,480	80.0%
メタルワン	2,610	60.0%
丸一鋼管	870	20.0%
現地資本	870	20.0%
合計	4,350	100.0%

③北米戦略の展開

【Leavitt Tube Company, LLC（LTC社）の拡充発展】

・2008年5月にＬＴＣ社の経営権をUS$90百万で取得

・ 現在の持分の構成及び保有割合(2011年3月現在)

MKK・USA・インク ：60%

米国住友商事㈱ ：35%

SUMMIT STEEL LV Holding Inc： 5%





シカゴ工場（イリノイ州）

シカゴ工場　拡充計画

競争力強化　（ＭＡＣ同等の競争力の確保）

・２０１１年１月　　Ｗ８０（１２インチ）ミルの改造（US$１２百万）
（クイックロール交換システムの導入）
ロール交換時間の短縮　６時間→３時間

・２０１１年１２月　Ｗ５０（５インチ）ミル更新予定（US$１５百万）

・２０１１年１２月　２インチミル改造予定（US$３百万）

・２０１２年１０月　Ｗ８０ミル改造予定（US$１５百万）



シカゴ工場内設備

約５，０００トン／月の余剰能力で、ラインパイプを製造可能なラインに改造。
米国北東部のシェールガス開発でマーケット拡大を見込む。

【業績の推移】

（単位：百万ＵＳ＄）

	売上高	営業利益	当期税前利益
2008年12月	229	14	13
2009年12月	68	▲ 11	▲ 10
2010年12月	68	3	3
2011年12月 見込	86	4	5
1 ～ 6月　実績	49	5	6
7～12月　見込	37	▲ 1	▲ 1

【Maruichi American Corporation (MAC社) の業績】

・株式の保有割合 (2011年3月現在)

丸一鋼管 ：53%
メタルワン ：30%
丸一鋼販 ： 8%
三菱東京ＵＦＪ銀行 ： 5%
三井住友銀行 ： 4%



【業績の推移】

(単位：百万ＵＳ＄)

	売上高	営業利益	当期税前利益
2008年12月	83	1	3
2009年12月	41	0	0
2010年12月	47	2	3
2011年12月 見込	65	5	6
1 ～ 6月 実績	35	4	5
7～12月 見込	30	1	1

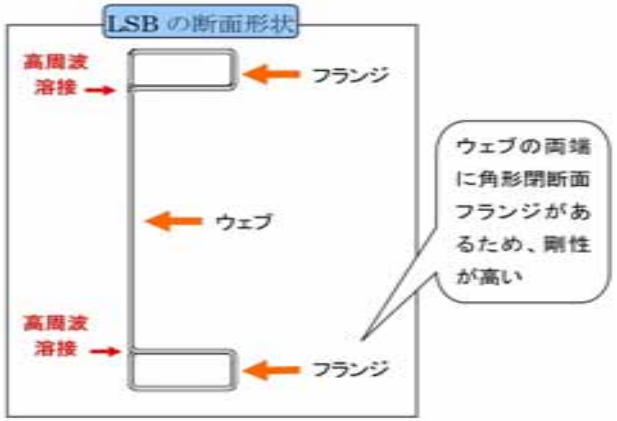
3) 新規事業分野への積極的展開

①国内での新アイテムへの進出

【LSB (LiteSteel Beam)】

・豪州 オーストラリアン・チューブ・ミルズ (ATM社) の開発商品

・国土交通大臣認定を2008年5月に取得





① 梁や柱などに最適

② 軽量化が可能

③ 長寿命で環境にやさしい

④ 現場での加工及び 建方が容易



【2010年4月　大阪工場にＬＳＢ利用プレファブ加工設備の整備】

・国内におけるマーケット開拓を開始
・LSBを使った店舗をローソンと企画し、
　　2009年度から 標準店への採用が決定

　　2009年度　4店舗に採用
　　2010年度　28店舗に採用
　　2011年度　約100店舗に採用される予定

・2010年4月　大阪工場へLSB切断・穴あけ仮組の
　加工基地を設置
・ローソンのコンビニ店舗向けが主体
・ＬＳＢ　切断・穴あけ・仮組の加工基地を大阪工場に設置
・投資額　：1億円
・能　　力　：月間３０棟



LSB採用ローソン外観


ＬＳＢ加工設備

②海外での新市場　地域への進出

【インド　MARUICHI･KUMA社の拡充発展】

･インドで自動車及び二輪車向けステンレス鋼管を製造する唯一の企業

･日下部電機より株式譲受

･2011年1月　増資　10億円　(内丸一鋼管　7億円)

【MARUICHI･KUMA社概要】

名　　称：MARUICHI KUMA STEEL TUBE PRIVATE LIMITED
　　(旧社名　KUMA　STAINLESS TUBES　LIMITED)
所 在 地：インド ハリヤナ州 グルガオン
事業内容：自動車･二輪車向けステンレス鋼管および
　　アルミメッキ鋼管の製造販売
設　　立：2003年11月25日
資 本 金：INR544百万-　(約11億円)



MARUICHI･KUMA社

【業績の動向】

(単位：百万ＵＳ＄)

	売上高	当期税前利益
2010年3月	14	2
2011年3月	23	3
2012年3月 見込	32	3



グルガオン工場建屋内の様子

【MARUICHI・KUMA社の拡張】

① 需要増に対応する為、新たに５０％増床し、能力アップ完了

投資額　約ＩＮＲ１億

建屋（1，５１０㎡）

寸法切断機　８台

トラックスケール

コンプレッサー・フォークリフト等



チェンナイ工場建設予定地

② チェンナイに新工場建設（投資額１０百万ドル）

２０１２年１２月稼働予定　新工場稼働後の能力：1，８００トン／月（現行の１．８倍）

【ベトナム　J-スパイラル･スチール･パイプ社　稼働】

･JFEスチール株式会社、豊田通商株式会社と当社の三社で共同買収

･港湾や鉄道など急増する大型インフラプロジェクトに対応

･2010年12月24日新体制下での操業開始



J･Spiral社

【J･Spiral社概要】

名　　称　：J-Spiral Steel Pipe Co., Ltd.
所 在 地　：ベトナム　ドンナイ省　ロンタイン
事業内容　：鋼管杭、鋼管矢板の製造･販売
生産能力　：5万トン

【出資比率】

JFEスチール	：	35%
丸一鋼管グループ	：	35%(丸一鋼管30%、SUNSCO社5%)
豊田通商	：	30%

4）IT化による経営効率の向上と人材育成の強化

①IT化による経営効率化

2009年5月　基幹系新システム稼働開始（投資額　14億円）

②次代を担う人材、海外人材の育成

【海外で活躍できる人材の育成】

①国内社員の人材育成

・海外語学留学　実施（豪州、中国、ベトナム）

・海外研修　2010年 第7回25名派遣（MMP社）

2011年 第8回28名派遣（SUNSCO社）

②海外社員の人材育成

・ベトナムSUNSCO社への経営・技術指導の強化

【長期受け入れ】

第3次長期研修生　2名受入（2010年10月）

第4次長期研修生　4名受入（2011年10月）

【短期受け入れ】

第1次短期研修生　6名受入（2010年11月）

第2次短期研修生　8名受入（2011年10月）

・中国MMP社からの短期研修生受入（2010年12月）

・米国LTC社からの短期研修生受入（2011年6月）



第8回　海外研修（2011年）



第2次　ベトナム短期研修生（2011年）

5) 環境への積極的対応

- ＣＯ2削減にむけて、全社あげての対策チーム立ち上げ
- 東京第二工場　11号機溶接機をインバーター溶接機に更新（９８百万円）
- 詫間工場　LNGサテライト基地完成　（189百万円）
  省エネ･CO2削減･コストダウン対策への投資



LNGサテライト基地

- 絶滅危惧種（Endangered Species）の保護活動
  干潟や塩田に植生していた、アッケシソウ（写真）は、
  絶滅危惧種に指定されておりますが、
  当社、詫間工場の敷地内に自生しておりましたので、
  保護活動に取り組んでおります。



詫間工場で赤く色づいたアッケシソウ

6) 資本の効率化の推進

①株主重視の資本政策の展開

【株主総還元実績：高い株主還元率の維持】

(( )内は一株当たり配当：円　単位：百万円)

	中間配当額	期末配当額	年間配当額	当期純利益	自社株買 株数/金額	配当性向	総還元率
2010年3月期	(12.50) 1,086	(21.50) 1,868	(34.00) 2,955	6,846	1,000,000 株 1,856	43.2%	70.3%
2011年3月期	(15.00) 1,296	(31.50) 2,722	(46.50) 4,018	9,062	500,000 株 846	44.3%	53.7%
2012年3月予想	(20.00) 1,705	(26.00) 2,215	(46.00) 3,920	8,800	1,200,000 株 2,352	44.5%	71.3%
3年間合計	4,087	6,805	10,893	24,708	2,700,000 株 5,054	44.1%	64.5%

【配当政策の維持】

(平成23年8月5日一部変更)

「単体の特別損益を加味せず算出された想定四半期純利益の40%相当を年間配当とすることといたします。」
(最低年間25円)

⇒

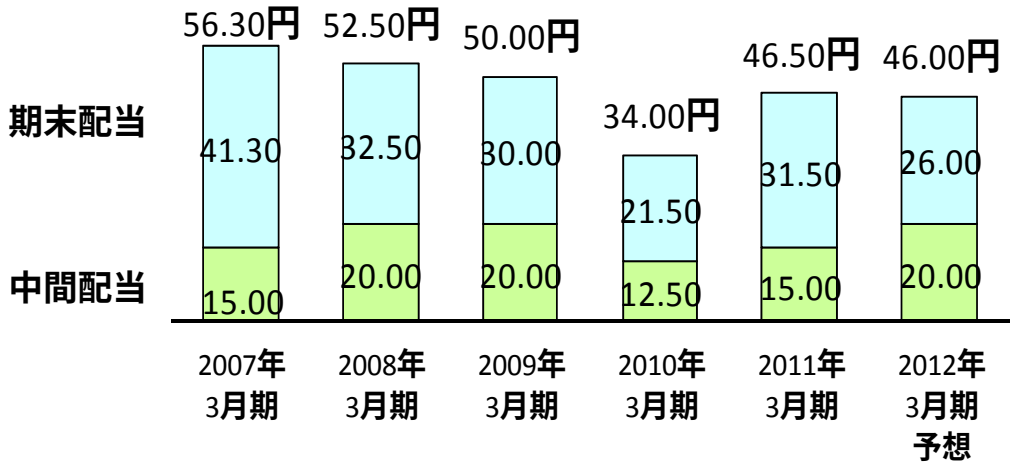
「**現行の税率を前提として、個別損益計算書における経常利益の60%を当期利益とみなし、その(みなし当期利益の)** 40%相当を年間配当とすることといたします。」
(最低年間25円)

≪一般の投資家に分かり易い表現に≫

【自社株買】

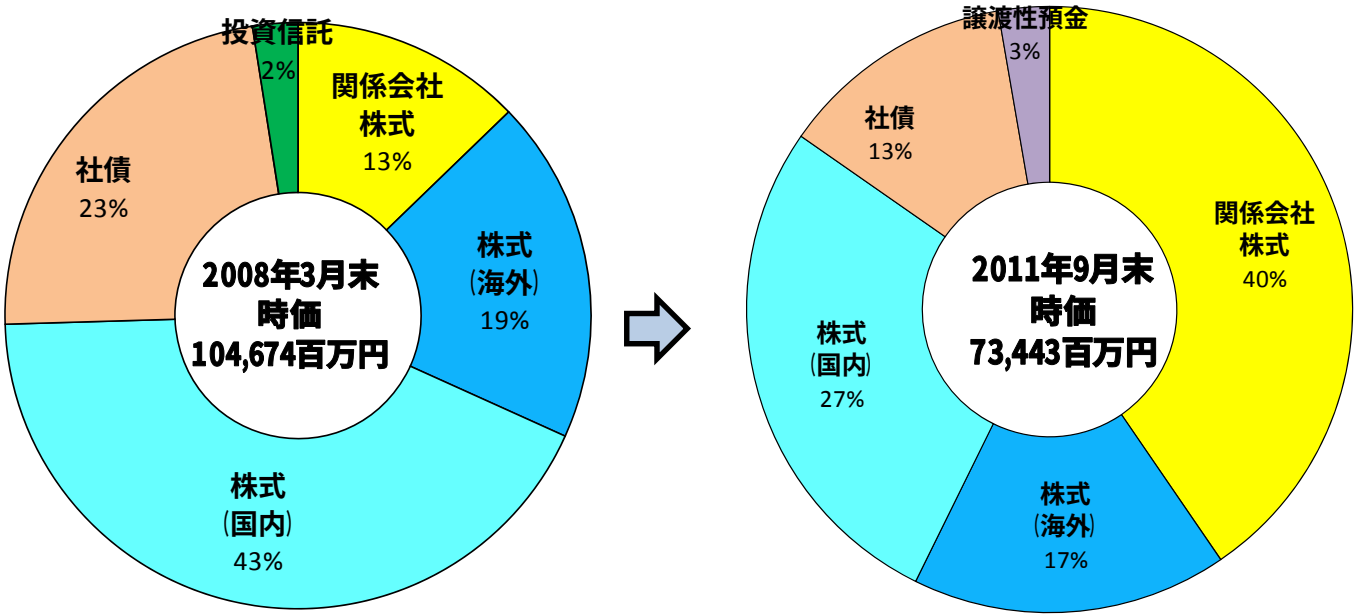
2009年3月期	150万株	40億円
2010年3月期	100万株	18億円
2011年3月期	50万株	8億円
2012年3月期	120万株	24億円
合　　計	420万株	90億円

配当金年間支払実績



②保有金融資産の見直しを実施　(単体)

【IFRS適用に向けた株式保有の見直し着手】



8) 災害に強い企業グループの構築

①国内事業所毎の防災体制の強化

- 東日本大震災を踏まえ、災害時の避難場所の見直し
- 災害時の社員の安否確認強化（安否確認システムの導入）
- 災害発生時の情報入手手段の確保（緊急地震速報システムの導入、衛星電話の導入）

②国内事業所間の供給補完体制の強化

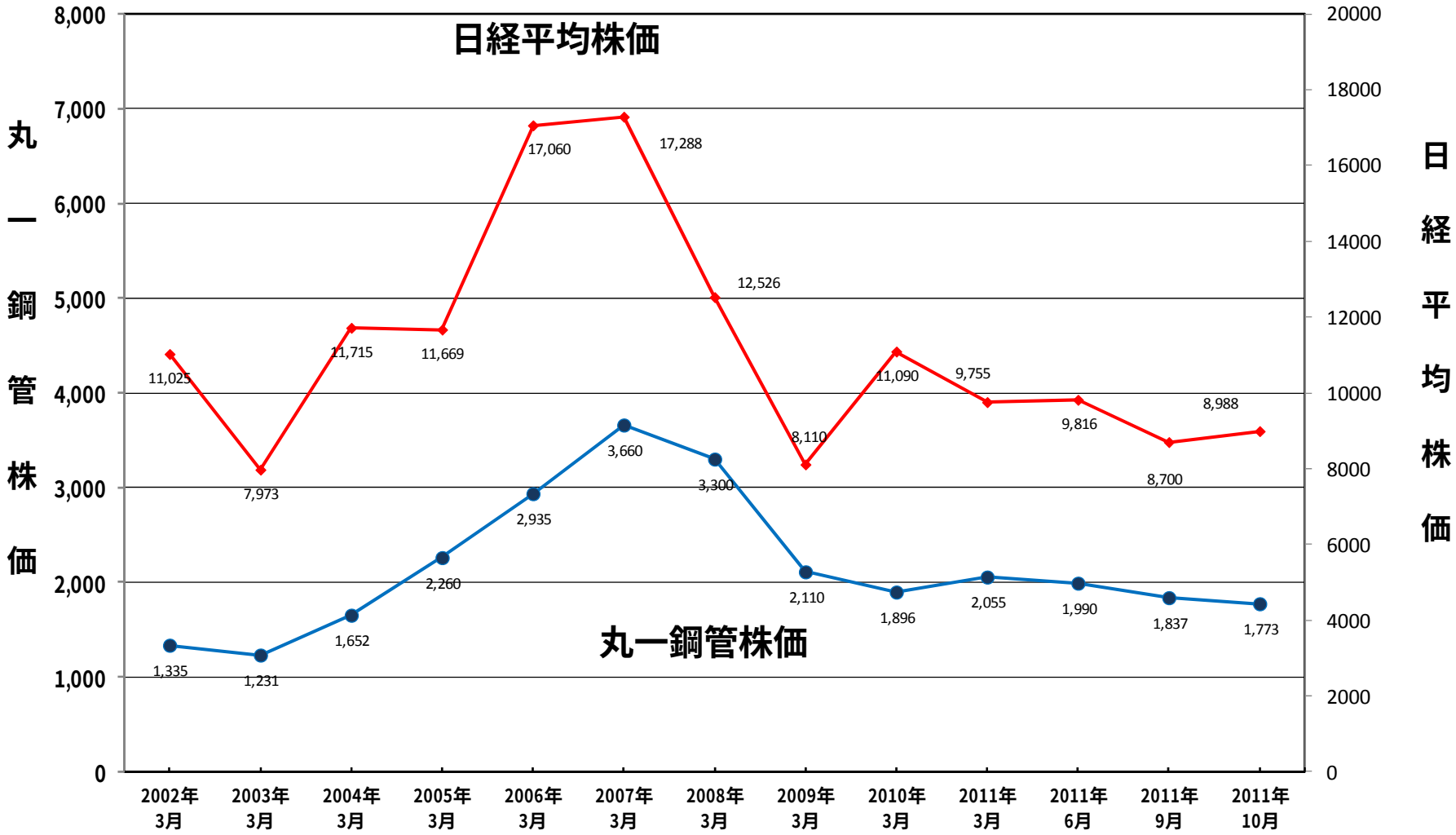
- 当社グループの分散化した需要地生産体制に基づき、全国に展開する当社グループの工場（9工場）を活用した供給体制を強化し、供給責任を果してまいります。

③海外事業所からの供給補完体制の構築

- SUNSCO社の16インチパイプミルと、現在進めております第2CGLの建設により、日本国内災害発生時には、堺工場及び詫間工場の補完機能を果たす体制にしてまいります。

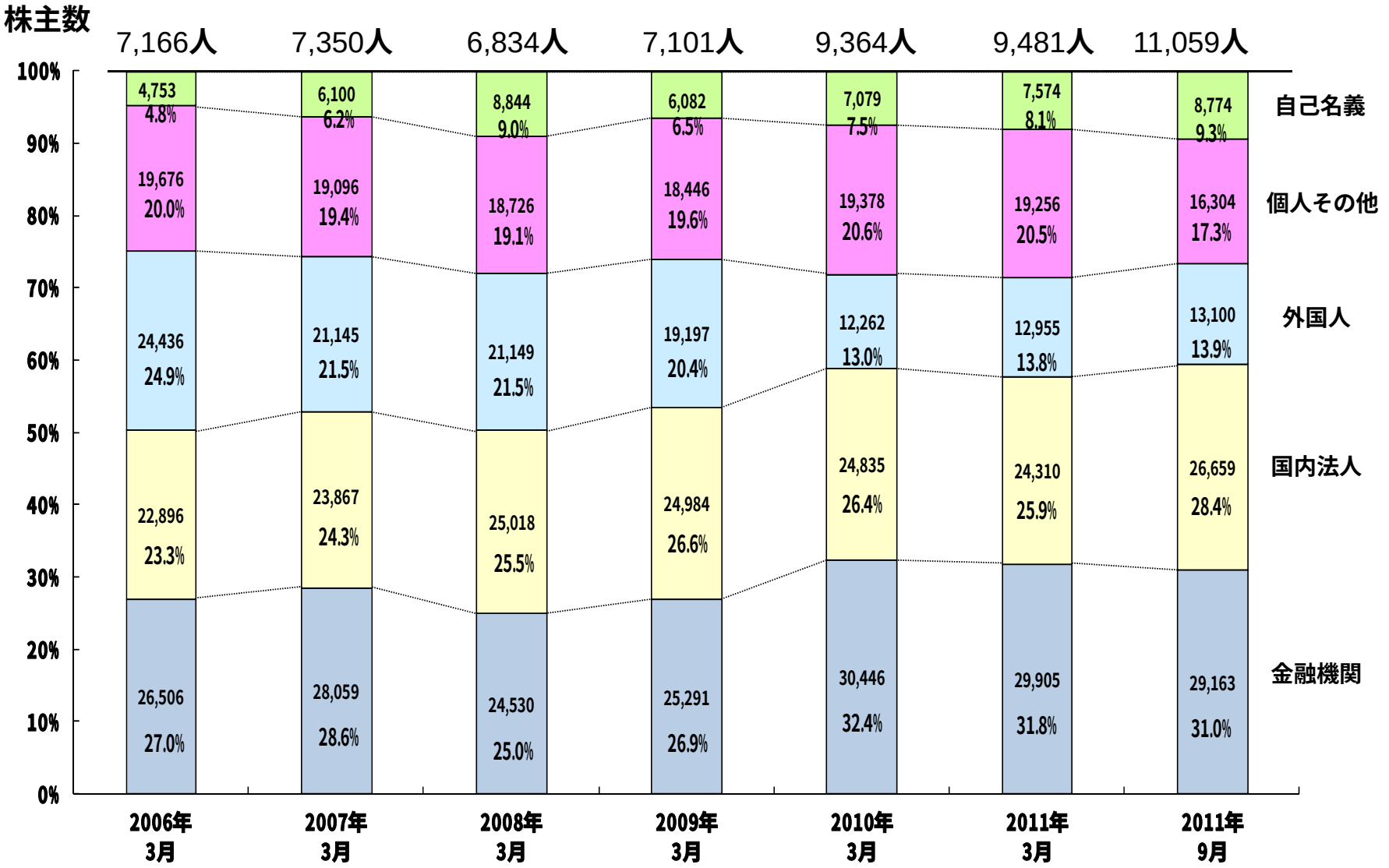
(参考) 株価の動き　月末終値ベース

(単位:円)



(参考) 株主構成変化

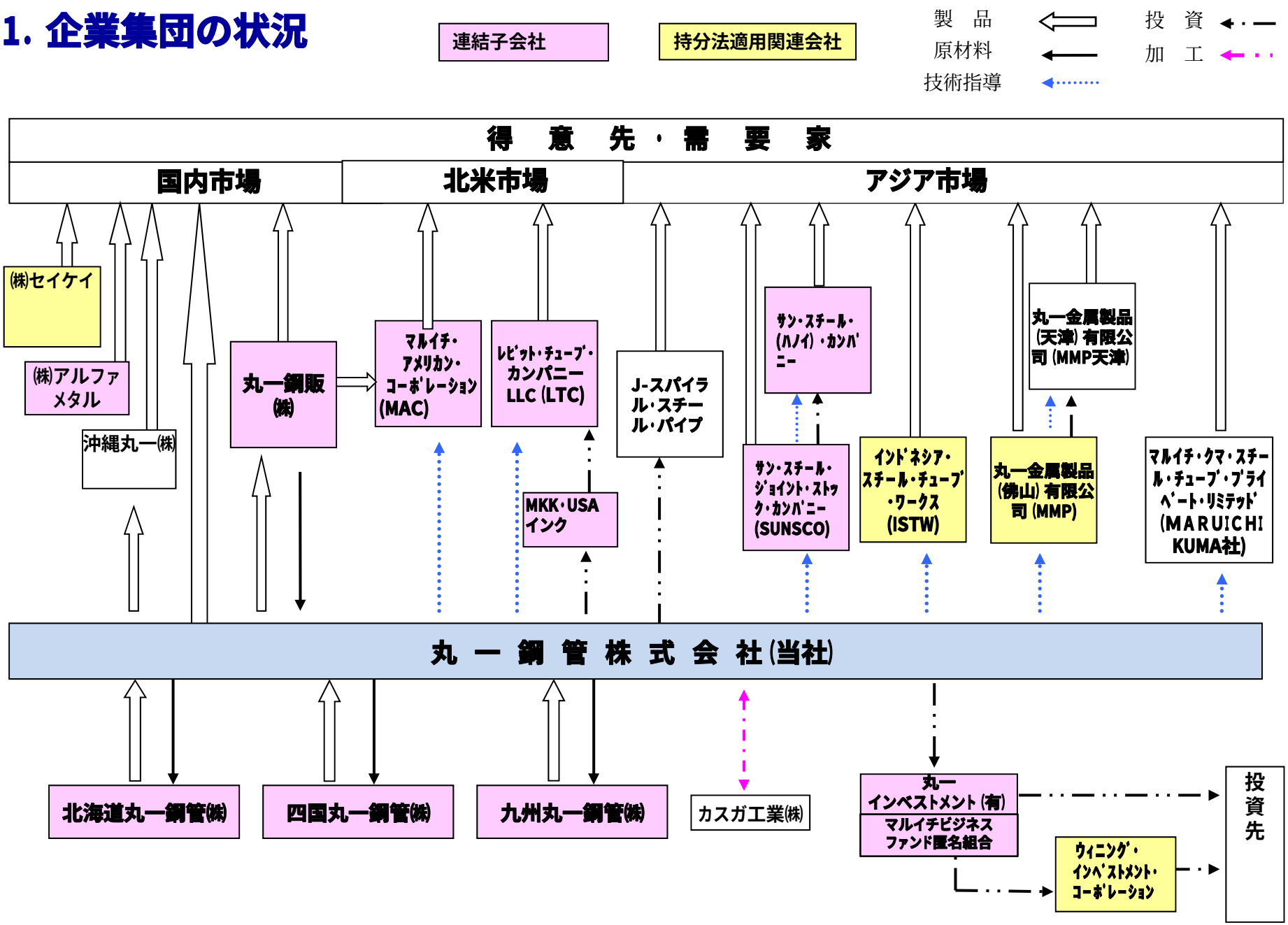
(数値は株数)
(単位:千株)



平成17年10月より単元株を100株へ引き下げ
平成20年4月　自己名義株のうち、426万株を消却

Ⅴ．丸一グループの特色

1. 企業集団の状況


連結子会社
持分法適用関連会社
製　品
原材料
技術指導
投　資
加　工
得　意　先・需　要　家
国内市場
北米市場
アジア市場
㈱セイケイ
㈱アルファメタル
沖縄丸一㈱
丸一鋼販㈱
マルイチ・アメリカン・コーポレーション(MAC)
レビット・チューブ・カンパニーLLC (LTC)
MKK・USAインク
J-スパイラル・スチール・パイプ
サン・スチール・(ハノイ)・カンパニー
サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー(SUNSCO)
インドネシア・スチール・チューブ・ワークス(ISTW)
丸一金属製品(天津)有限公司(MMP天津)
丸一金属製品(佛山)有限公司(MMP)
マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド(MARUICHI KUMA社)
丸　一　鋼　管　株　式　会　社(当社)
北海道丸一鋼管㈱
四国丸一鋼管㈱
九州丸一鋼管㈱
カスガ工業㈱
丸一インベストメント(有)
マルイチビジネスファンド匿名組合
ウィニング・インベストメント・コーポレーション
投資先

2. 経営理念

- わが社は、パイプのリーディング･カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。

- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。

- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。

- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。

3. 国内生産･販売体制

丸一鋼管株式会社

8工場、6事務所

＜グループ会社＞

丸一鋼販株式会社

12営業所、3パイプセンター

北海道丸一鋼管株式会社

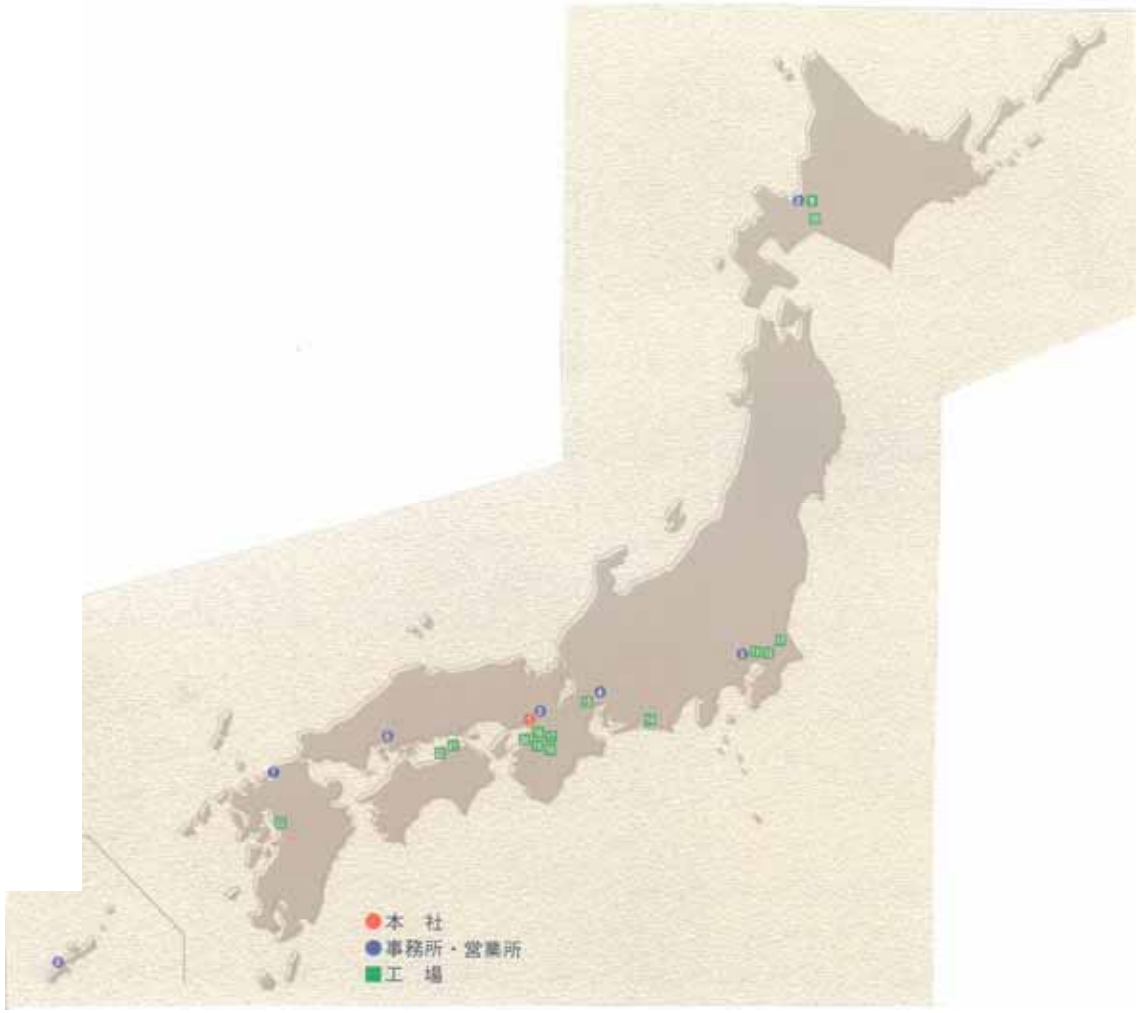
九州丸一鋼管株式会社

四国丸一鋼管株式会社

沖縄丸一鋼管株式会社

カスガ工業株式会社

株式会社　アルファメタル



4. 海外生産拠点

アジア



丸一金属制品(天津)
有限公司(中国)



KUMA社(インド)



丸一金属制品(佛山)
有限公司(中国)



SUNSCO(ハノイ)社
(ベトナム)



SUNSCO社
(ベトナム)



J-スパイラル社
(ベトナム)



ISTW社ジャカルタ工場
(インドネシア)



ISTW社セマラン工場
(インドネシア)

米国

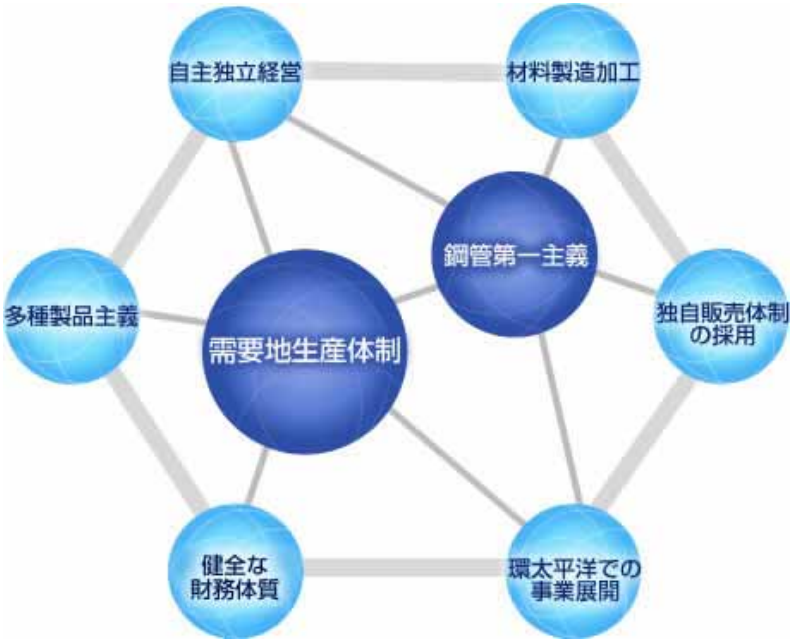


MAC社
(アメリカ)



LTC社シカゴ工場
(アメリカ)

5. 特色



需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 12 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

材料製造加工

詫間工場で加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がビビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

6. 沿革

1926	大正15年	自転車部品製造の丸一製作所を発足
1935	昭和10年	自転車鋼管の製造を始める
1940	昭和15年	丸一鋼管工場と改称
1947	昭和22年	株式会社丸一鋼管製作所を設立
1956	昭和31年	大阪出張所を改組し、丸一鋼販株式会社を設立
1957	昭和32年	大阪工場を新設
1958	昭和33年	東京事務所を開設 米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を輸入し、電縫管メーカーに転換
1960	昭和35年	丸一鋼管株式会社と商号変更 名古屋事務所開設
1961	昭和36年	東京工場を新設
1962	昭和37年	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場
1964	昭和39年	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場 福岡事務所を開設
1965	昭和40年	堺工場を新設
1966	昭和41年	名古屋工場を新設（昭和59年現名古屋工場へ統合） 広島事務所を新設
1970	昭和45年	北海道丸一鋼管株式会社を設立 札幌事務所を開設
1971	昭和46年	インドネシア ISTW社を設立
1972	昭和47年	特品工場を新設 大阪事務所を開設
1973	昭和48年	馬山鋼管株式会社を設立 東京工場第二工場を新設
1974	昭和49年	四国丸一鋼管株式会社を設立 九州丸一鋼管株式会社を設立
1977	昭和52年	名古屋第二工場（現名古屋工場）を新設
1978	昭和53年	本社を大阪市西区北堀江の現在地に移転 アメリカ　MAC社を設立
1989	平成元年	詫間工場を新設
1995	平成7年	鹿島特品工場を新設
1998	平成10年	北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を苫小牧工場に統合
2000	平成12年	新広島事務所・倉庫完成
2001	平成13年	詫間工場に焼鈍設備を新設
2002	平成14年	東京第二工場新倉庫を建設
2003	平成15年	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設
2005	平成17年	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承
2006	平成18年	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工 中国　MMP社操業開始 東洋特殊鋼業へ出資 ベトナム　SUNSCO社へ出資
2007	平成19年	名古屋工場0．5インチミル増設 堺工場　第6工場の新設　設備稼働 詫間工場　メッキ炉改造工事　酸洗ライン トリミング設備設置
2008	平成20年	SUNSCO社 連結子会社化 LEAVITT社　連結子会社化 堺工場リニューアル工事完了
2009	平成21年	インド　KUMA社　子会社化 セイケイ　堺製造所　稼働
2010	平成22年	アルファメタル　連結子会社化 SUNSCO社　16インチミル増設 SUNSCO社　HANOI社　操業開始 ベトナム　J・スパイラルスチールパイプ社へ出資
2011	平成23年	中国　MMP天津社　稼働 東京第二工場　第3工場を新設

丸一鋼管グループの方向性について

1．今後も株主重視の経営を推進し、株主価値の最大化に向けて不断の努力を続けて参る所存です。そして、我々は、鋼管業界においてグローバルで見て質･量共に世界でもトップと言える企業集団へ成長発展を続けて参ります。

2．今年度は第2次中期経営計画の最終年度です。今年度の目標の達成は大変難しい情勢ですが、近い将来の達成のため、海外での事業拡充にグループ一丸となって取り組んで参ります。

注意事項

本資料の計画･見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画･見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

丸一鋼管株式会社